

(様式第10)

浜医大医第99号  
平成27年9月29日

東海北陸厚生局長 殿

国立大学法人浜松医科大学  
開設者名 印  
学長 中村 達

浜松医科大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成26年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

|     |                               |
|-----|-------------------------------|
| 住 所 | 〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号 |
| 氏 名 | 国立大学法人 浜松医科大学 学長 中村 達         |

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称 浜松医科大学医学部附属病院

|  |
|--|
|  |
|--|

3 所在の場所

|                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 〒 431 - 3192        | 電話 (053) 435-2111 |
| 静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号 |                   |

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

|   |
|---|
| <input checked="" type="radio"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜                              |
| <input type="radio"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜 |

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

| 内科             |   |    |    |    |    |    | <input checked="" type="radio"/> 有 | ・ | <input type="radio"/> 無 |
|----------------|---|----|----|----|----|----|------------------------------------|---|-------------------------|
| 内科と組み合わせた診療科名等 |   |    |    |    |    |    |                                    |   |                         |
| 1              | 2 | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |                                    |   |                         |
| 8              | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |                                    |   |                         |
| 診療実績           |   |    |    |    |    |    |                                    |   |                         |

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科名等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

|                |   |    |    |    |    |    |         |
|----------------|---|----|----|----|----|----|---------|
| 外科             |   |    |    |    |    |    | (有) ・ 無 |
| 外科と組み合わせた診療科名等 |   |    |    |    |    |    |         |
| 1              | 2 | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |         |
| 8              | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |         |
| 診療実績           |   |    |    |    |    |    |         |

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他標榜していることが求められる診療科名

|          |      |       |        |       |          |       |
|----------|------|-------|--------|-------|----------|-------|
| ①精神科     | ②小児科 | ③整形外科 | ④脳神経外科 | ⑤皮膚科  | ⑥泌尿器科    | 7産婦人科 |
| ⑧産科      | ⑨婦人科 | ⑩眼科   | ⑪耳鼻咽喉科 | ⑫放射線科 | 13放射線診断科 |       |
| 14放射線治療科 | ⑮麻酔科 | 16救急科 |        |       |          |       |

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

|                |   |   |   |   |   |   |         |
|----------------|---|---|---|---|---|---|---------|
| 歯科             |   |   |   |   |   |   | (有) ・ 無 |
| 歯科と組み合わせた診療科名等 |   |   |   |   |   |   |         |
| 1 歯科口腔外科       | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |         |
| 歯科の診療体制        |   |   |   |   |   |   |         |

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

|         |        |          |              |        |
|---------|--------|----------|--------------|--------|
| 1 循環器科  | 2 神経科  | 3 心臓血管外科 | 4 リハビリテーション科 | 5 形成外科 |
| 6 病理診断科 | 7 小児外科 |          |              |        |

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

|      |     |    |    |       |       |
|------|-----|----|----|-------|-------|
| 精神   | 感染症 | 結核 | 療養 | 一般    | 合計    |
| 37 床 | 床   | 床  | 床  | 576 床 | 613 床 |

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年 9月 1日現在)

| 職 種   | 常 勤   | 非 常 勤 | 合 計   | 職 種     | 員 数  | 職 種                | 員 数   |
|-------|-------|-------|-------|---------|------|--------------------|-------|
| 医 師   | 322 人 | 97 人  | 354 人 | 看護補助者   | 53 人 | 診療エックス線技師          | 0 人   |
| 歯科医師  | 11 人  | 2 人   | 11 人  | 理学療法士   | 11 人 | 臨床検査技師             | 58 人  |
| 薬 剤 師 | 43 人  | 0 人   | 43 人  | 作業療法士   | 6 人  | 臨床検査衛生検査技師         | 0 人   |
| 保 健 師 | 0 人   | 0 人   | 0 人   | 視能訓練士   | 3 人  | 臨 床 検 査 師          | 0 人   |
| 助 産 師 | 31 人  | 2 人   | 32 人  | 義肢装具士   | 0 人  | その他<br>あん摩マッサージ指圧師 | 0 人   |
| 看 護 師 | 567 人 | 34 人  | 590 人 | 臨床工学技士  | 14 人 | 医療社会事業従事者          | 4 人   |
| 准看護師  | 3 人   | 1 人   | 4 人   | 栄 養 士   | 0 人  | その他の技術員            | 63 人  |
| 歯科衛生士 | 1 人   | 0 人   | 1 人   | 歯科技工士   | 1 人  | 事務職員               | 133 人 |
| 管理栄養士 | 8 人   | 5 人   | 12 人  | 診療放射線技師 | 33 人 | その他の職員             | 17 人  |

(注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。

(注) 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

(注) 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年 9月 1日現在)

| 専門医名      | 人 数  | 専門医名      | 人 数   |
|-----------|------|-----------|-------|
| 総合内科専門医   | 24 人 | 眼 科 専 門 医 | 7 人   |
| 外 科 専 門 医 | 40 人 | 耳鼻咽喉科専門医  | 11 人  |
| 精神科専門医    | 11 人 | 放射線科専門医   | 12 人  |
| 小児科専門医    | 24 人 | 脳神経外科専門医  | 8 人   |
| 皮膚科専門医    | 8 人  | 整形外科専門医   | 16 人  |
| 泌尿器科専門医   | 7 人  | 麻酔科専門医    | 22 人  |
| 産婦人科専門医   | 19 人 | 救急科専門医    | 2 人   |
|           |      | 合 計       | 211 人 |

(注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

|                   | 歯 科 等 以 外        | 歯 科 等    | 合 計       |
|-------------------|------------------|----------|-----------|
| 1日当たり平均入院患者数      | 478.4 人          | 6.9 人    | 485.3 人   |
| 1日当たり平均外来患者数      | 1,191.5 人        | 45.1 人   | 1,236.6 人 |
| 1日当たり平均調剤数        | 入院 631.7 外来 44.0 | 合計 675.7 | 剤         |
| 必 要 医 師 数         | 123 人            |          |           |
| 必 要 歯 科 医 師 数     | 3 人              |          |           |
| 必 要 薬 剤 師 数       | 18 人             |          |           |
| 必 要 ( 准 ) 看 護 師 数 | 305 人            |          |           |

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

(注) 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

(注) 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

(注) 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(注) 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

### 9 施設の構造設備

| 施設名      | 床面積                   | 主要構造       | 設 備 概 要              |                                 |     |
|----------|-----------------------|------------|----------------------|---------------------------------|-----|
| 集中治療室    | 254.2 m <sup>2</sup>  | 鉄骨鉄筋コンクリート | 病床数                  | 12床                             |     |
|          |                       |            | 心電計                  | 有・無                             |     |
|          |                       |            | 人工呼吸装置               | 有・無                             |     |
|          |                       |            | 心細動除去装置              | 有・無                             |     |
|          |                       |            | その他の救急蘇生装置           | 有・無                             |     |
|          |                       |            | ペースメーカー              | 有・無                             |     |
| 無菌病室等    | [固定式の場合]              | 床面積        | 316.5 m <sup>2</sup> | 病床数                             | 24床 |
|          | [移動式の場合]              | 台数         | 台                    |                                 |     |
| 医薬品情報管理室 | [専用室の場合]              | 床面積        | 21 m <sup>2</sup>    |                                 |     |
|          | [共用室の場合]              | 共用する室名     |                      |                                 |     |
| 化学検査室    | 413.17 m <sup>2</sup> |            | (主な設備)               | 生化学・免疫全自動分析装置・全自動血液検査システム       |     |
| 細菌検査室    | 174.70 m <sup>2</sup> |            | (主な設備)               | 自動細菌同定感受性装置・自動血液培養装置            |     |
| 病理検査室    | 149.80 m <sup>2</sup> |            | (主な設備)               | 自動固定包埋装置・パラフィン包埋ブロック作製装置・マイクローム |     |
| 病理解剖室    | 46.00 m <sup>2</sup>  |            | (主な設備)               | 排水滅菌システム・固定液作製装置・解剖台            |     |
| 研究室      | 292.80 m <sup>2</sup> |            | (主な設備)               | 臨床情報検索データベースシステム                |     |
| 講義室      | 255.10 m <sup>2</sup> |            | 室数                   | 1室                              |     |
|          |                       |            | 収容定員                 | 170人                            |     |
| 図書室      | 61.20 m <sup>2</sup>  |            | 室数                   | 1室                              |     |
|          |                       |            | 蔵書数                  | 8,730冊程度                        |     |

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

(注) 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

### 10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

| 算 定 期 間 |                       | 平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日 |         |
|---------|-----------------------|-------------------------|---------|
| 紹介率     | 98.7%                 | 逆紹介率                    | 49.4%   |
| 算出根拠    | A：紹介患者の数              |                         | 11,960人 |
|         | B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数  |                         | 6,979人  |
|         | C：救急用自動車によって搬入された患者の数 |                         | 1,995人  |
|         | D：初診の患者の数             |                         | 14,133人 |

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。





(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾患名  | 取扱患者数 | 疾患名  | 取扱患者数 |
|--|-------|--|-------|
| ・ベーチェット病                                       | 67 人  | ・膿疱性乾癬   | 18 人  |
| ・多発性硬化症  | 34 人  | ・広範脊柱管狭窄症  | 8 人   |
| ・重症筋無力症  | 65 人  | ・原発性胆汁性肝硬変   | 15 人  |
| ・全身性エリテマトーデス                                   | 248 人 | ・重症急性膵炎  | 12 人  |
| ・スモン   | 1 人   | ・特発性大腿骨頭壊死症  | 62 人  |
| ・再生不良性貧血                                       | 52 人  | ・混合性結合組織病  | 19 人  |
| ・サルコイドーシス                                      | 195 人 | ・原発性免疫不全症候群  | 5 人   |
| ・筋萎縮性側索硬化症                                     | 14 人  | ・特発性間質性肺炎  | 41 人  |
| ・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎                               | 244 人 | ・網膜色素変性症   | 28 人  |
| ・特発性血小板減少性紫斑病                                  | 105 人 | ・プリオン病   | 0 人   |
| ・結節性動脈周囲炎                                      | 40 人  | ・肺動脈性肺高血圧症   | 17 人  |
| ・潰瘍性大腸炎  | 239 人 | ・神経線維腫症  | 20 人  |
| ・大動脈炎症候群                                       | 16 人  | ・亜急性硬化性全脳炎   | 3 人   |
| ・ビュルガー病  | 7 人   | ・バッド・キアリ (Budd-Chiari) 症候群   | 7 人   |
| ・天疱瘡   | 23 人  | ・慢性血栓性肺高血圧症  | 5 人   |
| ・脊髄小脳変性症                                       | 34 人  | ・ライソゾーム病   | 1 人   |
| ・クローン病   | 127 人 | ・副腎白質ジストロフィー   | 0 人   |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎                                 | 0 人   | ・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)  | 0 人   |
| ・悪性関節リウマチ                                      | 27 人  | ・脊髄性筋萎縮症   | 1 人   |
| ・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、<br>大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病) | 169 人 | ・球脊髄性筋萎縮症  | 3 人   |
| ・アミロイドーシス                                      | 10 人  | ・慢性炎症性脱髄性多発神経炎   | 7 人   |
| ・後縦靭帯骨化症                                       | 103 人 | ・肥大型心筋症  | 5 人   |
| ・ハンチントン病                                       | 0 人   | ・拘束型心筋症  | 0 人   |
| ・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)                             | 15 人  | ・ミトコンドリア病  | 5 人   |
| ・ウェゲナー肉芽腫症                                     | 12 人  | ・リンパ管筋腫症(LAM)  | 1 人   |
| ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症                               | 43 人  | ・重症多形滲出性紅斑(急性期)  | 1 人   |
| ・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋<br>小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガ症候群)   | 14 人  | ・黄色靭帯骨化症   | 6 人   |
| ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)                            | 1 人   | 間脳下垂体機能障害<br>(PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常<br>症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異<br>常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能<br>低下症) | 275 人 |

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

| 施設基準の種類                 | 施設基準の種類           |
|-------------------------|-------------------|
| ・ 地域歯科診療支援病院歯科初診料       | ・ 退院調整加算          |
| ・ 歯科外来診療環境体制加算          | ・ 救急搬送患者地域連携紹介加算  |
| ・ 特定機能病院入院基本料(7対1)      | ・ 救急搬送患者地域連携受入加算  |
| ・ 特定機能病院入院基本料(13対1)     | ・ 総合評価加算          |
| ・ 臨床研修病院入院診療加算          | ・ 病棟薬剤業務実施加算      |
| ・ 救急医療管理加算              | ・ データ提出加算2        |
| ・ 妊産婦緊急搬送入院加算           | ・ 特定集中治療室管理料4     |
| ・ 診療録管理体制加算1            | ・ 新生児特定集中治療室管理料1  |
| ・ 急性期看護補助体制加算(50対1)     | ・ 新生児治療回復室入院医療管理料 |
| ・ 急性期看護補助体制加算(5割未満25対1) | ・ 小児入院医療管理料2      |
| ・ 看護職員夜間配置加算            | ・                 |
| ・ 看護補助加算2(50対1){精神}     | ・                 |
| ・ 療養環境加算                | ・                 |
| ・ 重症者等療養環境特別加算          | ・                 |
| ・ 無菌治療室管理加算1            | ・                 |
| ・ 無菌治療室管理加算2            | ・                 |
| ・ 精神科身体合併症管理加算          | ・                 |
| ・ 摂食障害入院医療管理加算          | ・                 |
| ・ がん診療連携拠点病院加算          | ・                 |
| ・ 栄養サポートチーム加算           | ・                 |
| ・ 医療安全対策加算1             | ・                 |
| ・ 感染防止対策加算1             | ・                 |
| ・ 患者サポート体制充実加算          | ・                 |
| ・ 褥瘡ハイリスク患者ケア加算         | ・                 |
| ・ ハイリスク妊娠管理加算           | ・                 |
| ・ ハイリスク分娩管理加算           | ・                 |

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

| 施設基準の種類               | 施設基準の種類                           |
|-----------------------|-----------------------------------|
| ・ 植込型除細動器移行期加算        | ・ 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算        |
| ・ 高度難聴指導管理料           | ・ 植込型心電図検査                        |
| ・ 喘息治療管理料             | ・ 時間内歩行試験                         |
| ・ 糖尿病合併症管理料           | ・ 胎児心エコー法                         |
| ・ がん性疼痛緩和指導管理料        | ・ ヘッドアップティルト試験                    |
| ・ がん患者指導管理料1          | ・ 人工膀胱                            |
| ・ がん患者指導管理料2          | ・ 皮下連続式グルコース測定                    |
| ・ 糖尿病透析予防指導管理料        | ・ 長期継続頭蓋内脳波検査                     |
| ・ 夜間休日救急搬送医学管理料       | ・ 神経学的検査                          |
| ・ 外来放射線照射診療料          | ・ 補聴器適合検査                         |
| ・ ニコチン依存症管理料          | ・ ロービジョン検査判断料                     |
| ・ 開放型病院共同指導料          | ・ コンタクトレンズ検査料1                    |
| ・ 地域連携診療計画管理料         | ・ 小児食物アレルギー負荷検査                   |
| ・ がん治療連携計画策定料         | ・ 内服・点滴誘発試験                       |
| ・ がん治療連携管理料           | ・ センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る)        |
| ・ 肝炎インターフェロン治療計画料     | ・ CT透視下気管支鏡検査加算                   |
| ・ 薬剤管理指導料             | ・ 画像診断管理加算1                       |
| ・ 医療機器安全管理料1          | ・ ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影 |
| ・ 医療機器安全管理料2          | ・ CT撮影及びMRI撮影                     |
| ・ 医療機器安全管理料(歯科)       | ・ 冠動脈CT撮影加算                       |
| ・ 歯科治療総合医療管理料         | ・ 外傷全身CT加算                        |
| ・ 持続血糖測定器加算           | ・ 大腸CT撮影加算                        |
| ・ 造血器腫瘍遺伝子検査          | ・ 心臓MRI撮影加算                       |
| ・ HPV核酸検出             | ・ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算                    |
| ・ HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定) | ・ 外来化学療法加算1                       |
| ・ 検体検査管理加算(IV)        | ・ 無菌製剤処理料                         |

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

| 施設基準の種類   | 施設基準の種類  |
|---|--|
| ・心大血管疾患リハビリテーション料(I)                              | ・腫瘍脊椎骨全摘術  |
| ・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)                              | ・脳腫瘍覚醒下マッピング加算   |
| ・運動器リハビリテーション料(I)                                 | ・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術  |
| ・呼吸器リハビリテーション料(I)                                 | ・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術  |
| ・がん患者リハビリテーション料                                   | ・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))   |
| ・集団コミュニケーション療法料                                   | ・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術  |
| ・歯科口腔リハビリテーション料2                                  | ・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)  |
| ・認知療法・認知行動療法2                                     | ・上顎骨形成術(骨移動に伴う場合に限る。)(歯科診療の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動に伴う場合に限る。)(歯科診療の診療に係るものに限る。) |
| ・精神科作業療法  | ・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2   |
| ・精神科ショート・ケア「小規模なもの」                               | ・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)  |
| ・精神科デイ・ケア「小規模なもの」                                 | ・経皮的冠動脈形成術   |
| ・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)           | ・経皮的冠動脈ステント留置術   |
| ・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1                   | ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術  |
| ・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1                  | ・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術  |
| ・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1                   | ・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術  |
| ・歯科点数表第2章第8部処置の通則の6に掲げる処置の休日加算1                   | ・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)                                |
| ・歯科点数表第2章第8部処置の通則の6に掲げる処置の時間外加算1                  | ・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術                                  |
| ・歯科点数表第2章第8部処置の通則の6に掲げる処置の深夜加算1                   | ・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)  |
| ・エタノールの局所注入(甲状腺)                                  | ・補助人工心臓  |
| ・エタノールの局所注入(副甲状腺)                                 | ・経皮的動脈遮断術  |
| ・透析液水質確保加算2                                       | ・ダメージコントロール手術  |
| ・一酸化窒素吸入療法  | ・体外衝撃波胆石破碎術  |
| ・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術 | ・腹腔鏡下肝切除術  |
| ・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算                                 | ・体外衝撃波膀胱石破碎術   |
| ・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術))                           | ・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術   |
| ・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)                   | ・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術   |

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

| 施設基準の種類                            | 施設基準の種類                  |
|------------------------------------|--------------------------|
| ・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術                    | ・外来放射線治療加算               |
| ・同種死体腎移植術                          | ・高エネルギー放射線治療             |
| ・生体腎移植術                            | ・1回線量増加加算                |
| ・膀胱水圧拡張術                           | ・強度変調放射線治療(IMRT)         |
| ・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術                      | ・画像誘導放射線治療(IGRT)         |
| ・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)           | ・体外照射呼吸性移動対策加算           |
| ・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1  | ・直線加速器による放射線治療           |
| ・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1 | ・定位放射線治療呼吸性移動対策加算・その他のもの |
| ・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1  | ・保険医療機関間の連携による病理診断       |
| ・歯科点数表第2章第9部手術の通則の9に掲げる手術の休日加算1    | ・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製  |
| ・歯科点数表第2章第9部手術の通則の9に掲げる手術の時間外加算1   | ・テレパソロジーによる術中迅速細胞診       |
| ・歯科点数表第2章第9部手術の通則の9に掲げる手術の深夜加算1    | ・病理診断管理加算2               |
| ・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)     | ・                        |
| ・輸血管理料 I                           | ・                        |
| ・輸血適正使用加算                          | ・                        |
| ・貯血式自己血輸血管理体制加算                    | ・                        |
| ・自己生体組織接着剤作成術                      | ・                        |
| ・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算                 | ・                        |
| ・胃瘻造設時嚥下機能評価加算                     | ・                        |
| ・歯周組織再生誘導手術                        | ・                        |
| ・広範囲顎骨支持型装置埋入手術                    | ・                        |
| ・クラウン・ブリッジ維持管理料                    | ・                        |
| ・歯科技工加算                            | ・                        |
| ・麻酔管理料(I)                          | ・                        |
| ・麻酔管理料(II)                         | ・                        |
| ・放射線治療専任加算                         | ・                        |



## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名                                    | 研究者氏名  | 所属部門          | 金額          | 補助元又は委託元         |
|--|--------|---------------|-------------|------------------|
| ヒト疾患解析にもとづく性差構築機序の解明                     | 緒方 勤   | 小児科学          | ¥25,800,000 | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| ヒトインプリンティング疾患発症を招く(エピ)遺伝学的機序の解明          | 緒方 勤   | 小児科学          | ¥12,000,000 | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| 脳電気刺激で誘導されるミトコンドリア蛋白UCP4による虚血耐性の検討とその応用  | 山本 清二  | イノベーション光医学    | ¥2,600,000  | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| 二次性リンパ浮腫動物モデルの作製と治療法の開発                  | 海野 直樹  | 外科学第二         | ¥4,000,000  | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| 羊水寒栓症の救命法と予知・予防法の開発                      | 金山 尚裕  | 産婦人科学         | ¥2,800,000  | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| 胎生期低栄養と良好な授乳期発育が成人期の生活習慣病発症におよぼす影響の基礎的解析 | 伊東 宏晃  | 周産母子センター      | ¥4,200,000  | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| 小児肝がん国際共同臨床試験に向けた新たな治療戦略のための分子基盤の構築      | 小倉 薫   | 小児外科          | ¥5,900,000  | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| 統合失調症の遅発性神経炎症仮説の証明と予防法の開発                | 岩田 泰秀  | 精神神経科         | ¥5,500,000  | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| アルツハイマー病における神経新生と神経炎症発症起点の生体画像を用いた病態研究   | 尾内 康臣  | 生体機能イメージング研究室 | ¥6,200,000  | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| Muse細胞をベクターとする悪性グリオーマの自殺遺伝子治療            | 難波 宏樹  | 脳神経外科学        | ¥1,400,000  | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| VEGF-Aを起点とするIL-17産生T細胞の誘導：乾癬病態のパラダイムシフト  | 戸倉 新樹  | 皮膚科学          | ¥4,100,000  | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| 薬剤送達に対するリンパ管の役割：転写因子FOXC2に着目したリンパ管機能解析   | 平川 聡史  | 皮膚科学          | ¥6,200,000  | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| 治療応答に伴うミトコンドリア機能変化に反応する新規がんイメージング薬剤の開発   | 間賀田 泰寛 | 分子病態イメージング    | ¥3,400,000  | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| 光イメージングによる腫瘍血管・低酸素を標的とした抗癌剤反応性バイオマーカーの開発 | 阪原 晴海  | 放射線医学         | ¥4,900,000  | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| 胎児プログラミングのエピゲノミクスを中心としたオミックス解析による探索的研究   | 前川 真人  | 臨床検査医学        | ¥3,100,000  | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| 抗血管新生治療中における癌微小環境変化の解析                   | 今野 弘之  | 外科学第二         | ¥4,700,000  | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| 自閉症の脳内ニコチン様アセチルコリン受容体：PETによる研究           | 鈴木 勝昭  | 精神医学          | ¥5,200,000  | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| 次世代シーケンサーを用いたわが国の網膜色素変性患者の遺伝子診断システムの構築   | 堀田 喜裕  | 眼科学           | ¥1,400,000  | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| 定量位相顕微鏡を用いた新規CTC(血中循環腫瘍細胞)検出器の開発         | 川端 俊貴  | 感染対策室         | ¥1,400,000  | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| MRIを用いた心腔内血流の解析                          | 齊藤 岳児  | 救急部           | ¥100,000    | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |
| 皮膚悪性腫瘍におけるセンチネルリンパ節検索パターンの解析             | 藤原 雅雄  | 形成外科          | ¥500,000    | 補委 独立行政法人日本学術振興会 |

|   |        |                  |            |    |               |
|---|--------|------------------|------------|----|---------------|
| 簡便で信頼性が高い脊髄機能モニタリング法の開発                               | 椎谷 紀彦  | 外科学第一            | ¥1,700,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 消化管間質腫瘍に対する新規治療標的の同定                                  | 菊池 寛利  | 外科学第二            | ¥1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 光診断技術を応用した術中ナビゲーションシステムの新規開発                          | 平松 良浩  | 外科学第二            | ¥1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| CACの発癌過程におけるSirtuinの関与                                | 倉地 清隆  | 外科学第二            | ¥1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 自閉症スペクトラムのstate marker－注視点検出装置の臨床応用と展開                | 土屋 賢治  | 子どものこころの発達研究センター | ¥1,000,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 血清メタボローム解析による自閉症脂肪酸代謝異常の解明と診断マーカーの確立                  | 高貝 就   | 子どものこころの発達研究センター | ¥1,500,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 妊産婦と胎児環境における亜鉛の重要性と補充療法の有効性の検討                        | 内田 季之  | 産科婦人科            | ¥1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 口腔扁平苔癬に対する5-アミノレブリン酸を用いた光線力学療法・診断                     | 増本 一真  | 歯科口腔外科           | ¥1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| ポルフィリン生合成系タンパクをマーカーとした口腔がんパーソナライズド光線力学療法              | 長田 哲次  | 歯科口腔外科学          | ¥900,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 口腔癌におけるCCR10陽性制御性T細胞誘導による腫瘍免疫回避機構の解明                  | 渡邊 賀子  | 歯科口腔外科学          | ¥900,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 頭頸部癌アウトカム・リサーチに関する基礎的研究                               | 高橋 吾郎  | 耳鼻咽喉科            | ¥700,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 近赤外線分光法による母体脳および胎盤の酸素動態モニタリングの臨床応用に向けた検討              | 鈴木 一有  | 周産母子センター         | ¥1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 光ファイバーカテーテルを利用した血液ブドウ糖濃度の連続測定法の開発                     | 土井 松幸  | 集中治療部            | ¥800,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 低酸素再酸素化ストレスが血管内皮細胞機能に及ぼす影響                            | 小幡 由佳子 | 集中治療部            | ¥1,000,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 短時間作用性β遮断薬の脳の酸素化への影響                                  | 栗田 忠代士 | 手術部              | ¥1,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 母乳栄養による肥満発症抑制機序：脂肪細胞と腸管内分泌細胞への複合作用の解明                 | 藤澤 泰子  | 小児科              | ¥1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| ポンペ病のエキソソーム機能の解明とmiRNA発現解析によるバイオマーカーの同定               | 福田 冬季子 | 小児科学             | ¥900,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| Molecular Basis of Familial Glucocorticoid Deficiency | 山口 理恵  | 小児科学             | ¥1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 重症心身障がい児の胃食道逆流症の病因としての上部消化管motility異常の解明              | 川原 央好  | 小児外科             | ¥1,500,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 脊髄損傷における病態の解明と治療                                      | 松山 幸弘  | 整形外科             | ¥300,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 小中学校教員のメンタルヘルスについての現況調査と支援プログラムの構築                    | 森 則夫   | 精神医学             | ¥1,900,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 思春期喫煙が成熟後の認知機能に及ぼす影響：動物モデルによる検討                       | 中原 大一郎 | 生体機能イメージング研究室    | ¥800,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 自閉症におけるデフォルトモードネットワークの破綻とその物質的背景                      | 小俣 圭   | 生体機能イメージング研究室    | ¥300,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 外科切除標本灌流ファージディスプレイ法による腫瘍特異的血管内リガンドの探索                 | 佐藤 正範  | 第一外科             | ¥1,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |

|  |        |        |            |    |               |
|--|--------|--------|------------|----|---------------|
| アスピリン起因性胃粘膜傷害におけるピロリ菌病原因子の存在意義の解明        | 杉本 光繁  | 第一内科   | ¥1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| IL-22産生を介した小腸粘膜防御機構の制御：IELとIECのクロストーク    | 杉本 健   | 第一内科   | ¥1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 神経細胞における鉄排出システムの補完作用と亜鉛による調節効果の解析        | 宮嶋 裕明  | 第一内科   | ¥1,900,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| イマチニブ耐性慢性骨髄性白血病のBCR-ABL1遺伝子変異クローンの推移     | 小野 孝明  | 第三内科   | ¥800,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| ω-3系多価不飽和脂肪酸による心保護作用についての研究              | 佐藤 洋   | 第三内科   | ¥2,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| ICG蛍光血管造影法による新たな腸管血流評価法の確立               | 神谷 欣志  | 第二外科   | ¥600,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 脂肪肝を背景とする肝細胞癌の発癌および悪性形質獲得における遊離脂肪酸調節の関与  | 坂口 孝宣  | 第二外科   | ¥1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 大腸癌肝転移における脂肪酸代謝の役割と新たな肝転移制御戦略の確立         | 山本 真義  | 第二外科   | ¥1,700,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 浮腫におけるPhlebo-lymphedemaの病態解明             | 山本 尚人  | 第二外科   | ¥1,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 腹部大動脈瘤の瘤壁における刷り応力と血管新生、リンパ管新生との関連について    | 犬塚 和徳  | 第二外科   | ¥1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 甲状腺刺激ホルモン、副腎皮質刺激ホルモンのリニアール・ログな負の調節機構の解析  | 佐々木 茂和 | 第二内科   | ¥1,000,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 臨床応用へ向けた結核患者における細胞性免疫誘導型樹状細胞ワクチンの免疫応答の解析 | 中村 祐太郎 | 第二内科   | ¥700,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 気管支喘息発作時の気道炎症増悪における獲得免疫と自然免疫のクロストークの解明   | 藤澤 朋幸  | 第二内科   | ¥1,500,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 甲状腺ホルモンとその受容体による転写調節における転写伸長因子の関わり       | 松下 明生  | 第二内科   | ¥1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 大動脈狭窄症の発症と進展におけるミッドカインの役割                | 林 秀晴   | 内科学第三  | ¥1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| ナノ粒子によるクロスプレゼンテーション機構を利用した新規喘息ワクチン療法の開発  | 榎本 紀之  | 内科学第二  | ¥1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| ミクログリア生体画像による視床下核刺激術後のパーキンソン病変性予防効果の解明   | 野崎 孝雄  | 脳神経外科  | ¥1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 自殺遺伝子導入iPS細胞による悪性グリオーマの治療研究              | 天野 慎士  | 脳神経外科  | ¥1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 筋萎縮性側索硬化症との発症起因の共通性に基づいた緑内障発症機構解析        | 大坪 正史  | 光ゲノム医学 | ¥900,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 網膜光障害モデルを用いた加齢黄斑変性機序追究：責任ゲノム領域の限定エキソーム解析 | 大石 健太郎 | 光ゲノム医学 | ¥1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 褥瘡におけるリンパ管機能障害メカニズムの解析及び褥瘡の早期診断法の確立      | 糟谷 啓   | 皮膚科    | ¥1,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 円形脱毛症におけるpDCを中心とした新たな病態メカニズムの解明          | 伊藤 泰介  | 皮膚科    | ¥1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| NAFLD/NASHを背景とする肝細胞癌多段階発癌と分子標的薬介入による効果   | 竹原 康雄  | 放射線部   | ¥1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 運動療法が高齢者の心筋保護効果を示すメカニズムについての研究           | 佐藤 重仁  | 麻酔・蘇生学 | ¥200,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |

|   |             |              |            |    |               |
|---|-------------|--------------|------------|----|---------------|
| 高齢者の術前運動療法の周術期心筋保護と術後回復促進のメカニズムに関する研究                         | 加藤 孝澄       | 麻酔・蘇生学       | ¥700,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| がん性疼痛緩和に用いる鎮痛薬の個人差要因に基づく至適薬物療法の構築                             | 川上 純一       | 薬剤部          | ¥1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| がん悪液質の病態時におけるオピオイドによる鎮痛効果、有害作用の個人差要因の解明                       | 内藤 隆文       | 薬剤部          | ¥1,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 改良型核酸染色による生がん幹細胞の分離と分子学的特性の網羅的解析法の確立                          | 竹下 明裕       | 輸血・細胞治療部     | ¥1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 染色体構造とゲノム配列の統合にもとづく新規エピゲノム解析法の開発                              | 渡邊 良久       | 臨床検査医学       | ¥1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 遺伝子改変マウスを用いた血球特異的GTPase RhoFの機能解析                             | 勝見 章        | 臨床腫瘍学        | ¥1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 35℃低体温法の心筋虚血再灌流障害保護作用：大気吸入心肺蘇生法との組み合わせ                        | 望月 利昭       | 救急部          | ¥1,600,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| ユビキチンリガーゼSCRAPPERが調節するシナプス蛋白質の超解像イメージング                       | 矢尾 育子       | 光イメージング研究室   | ¥800,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| プロテアーゼ活性化受容体—細胞内シグナル伝達系を介した絨毛細胞障害修復機構の検討                      | 杉村 基        | 産婦人科家庭医療学    | ¥1,800,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 病理組織学的検討に基づいた羊水塞栓症の診断法と新規治療薬の開発                               | 田村 直頭       | 産婦人科学        | ¥1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 自閉症スペクトラムにおける軸索走行異常とミクログリア活性化                                 | 杉山 登志郎      | 児童青年期精神医学    | ¥1,900,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 頭頸部癌における長鎖遺伝子間ncRNAのエピジェネティック制御について                           | 三澤 清        | 耳鼻咽喉科        | ¥2,000,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 頭頸部癌におけるTet-assist Bisulfite 法による脱メチル化解析                      | 大和谷 崇       | 耳鼻咽喉科        | ¥2,000,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 頭頸部癌におけるゲノム網羅的なエピジェネティック解析                                    | 峯田 周幸       | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 | ¥1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| ADHDのドーパミンD1受容体とミクログリアの定量解析—PETによる病態解明—                       | 竹林 淳和       | 精神医学         | ¥1,700,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| MPTPサルにおけるSTN-DBS刺激強度と効果発現に関する病態解明の研究                         | 浅川 哲也       | 精神医学         | ¥1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| Exome Sequencing to identify novel candidate genes for autism | イスマール サンシーム | 精神医学         | ¥1,000,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 高機能自閉症者の脳内GABA濃度と各種臨床パラメーターとの関連性                              | 和久田 智靖      | 精神医学         | ¥1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 自閉症のドーパミンD1受容体の機能変化に関するPET研究                                  | 藤田 梓        | 精神医学         | ¥1,500,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 出生時低酸素曝露ラットを用いた統合失調症ミクログリア仮説の検証                               | 高橋 太郎       | 精神科神経科       | ¥1,700,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| ハイリスク出生コホート研究に基づく自閉症スペクトラム障害の超早期兆候の特定                         | 豊田 志保       | 精神科神経科       | ¥2,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 敗血症性急性腎傷害におけるミトコンドリア由来ダメージ関連分子パターンの役割の検討                      | 安田 日出夫      | 内科学第一        | ¥800,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 肺炎球菌ワクチンが誘導するクラススイッチ機構の解明と新規ワクチンへの応用                          | 須田 隆文       | 内科学第二        | ¥1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| パーキンソン病—脳深部刺激モデルラットでのPETによるドーパミン放出の研究                         | 杉山 憲嗣       | 脳神経外科学       | ¥2,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |

|   |        |                  |            |    |               |
|---|--------|------------------|------------|----|---------------|
| 腎癌のFABP7機能解明とトリグセリド代謝の検討ならびに発癌予防に向けた探索        | 大園 誠一郎 | 泌尿器科学            | ¥1,500,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 13C-ナプロキセン呼気試験によるNSAID潰瘍リスク評価と個別化療法の確立        | 古田 隆久  | 臨床研究管理センター       | ¥1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 不安定プラークの診断・薬物治療効果評価を目的的に施行するためのシステムの構築        | 小川 美香子 | 分子病態イメージング       | ¥6,800,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 社会性と認知機能の関連性の探究ー社会スキル支援へ向けての基礎的研究ー            | 片桐 正敏  | 子どものこころの発達研究センター | ¥400,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 自閉症者の愛着感情、道徳感情およびユーモアの特異性に関する機能的脳画像研究         | 伊藤 大幸  | 子どものこころの発達研究センター | ¥1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 前頭-頭頂葉機能インバランス仮説に基づく自閉性障害の脳機能解明と評価指標作成        | 涌澤 圭介  | 子どものこころの発達研究センター | ¥700,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 3歳児健診におけるADHD傾向把握のための行動指標パッケージの開発             | 中島 俊思  | 子どものこころの発達研究センター | ¥600,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 恐怖不安関連因子stathmin1のTLR3を介したミクログリア活性化機構の解明      | 山田 浩平  | 子どものこころの発達研究センター | ¥1,000,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 生殖補助医療により生まれた児の運動・言語・社会性の発達の軌跡                | 中原 竜治  | 子どものこころの発達研究センター | ¥1,500,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 白血病細胞の薬剤耐性化とエピジェネティクスの解析                      | 坂口 公祥  | 小児科              | ¥500,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 裂手裂足症およびその類縁疾患を招く遺伝学的機序の解明                    | 永田 絵子  | 小児科学             | ¥1,500,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 強迫性障害を対象とした症状ディメンションに基づいた治療戦略                 | 井上 淳   | 精神科神経科           | ¥800,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| MDM2阻害薬によるシスプラチン腎症軽減効果の検討                     | 藤倉 知行  | 第一内科             | ¥2,000,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 日本におけるプライマリ・ケア質評価指標の開発                        | 井上 真智子 | 地域家庭医療学          | ¥700,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| セマフォリン発現トランスジェネリックマウスにおける皮膚免疫機能と肥満細胞の検証       | 龍野 一樹  | 皮膚科学             | ¥1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 日本人網膜色素変性患者におけるEYS遺伝子変異の迅速検査法の開発と臨床への応用       | 細野 克博  | 眼科学              | ¥1,500,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 頭頸部癌におけるDigital PCR装置を使ったメチル解析法の確立            | 遠藤 志織  | 耳鼻咽喉科            | ¥900,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 頭頸部癌における新規DNA脱メチル化剤を使ったメトロノーム療法導入の研究          | 近藤 玄樹  | 耳鼻咽喉科            | ¥1,000,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| H19およびmiR-675による頭頸部癌早期発見法の確立                  | 岡村 純   | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学     | ¥1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 抗コプロボルフィリン抗体を用いた羊水塞栓症の組織学診断および迅速診断法開発の検討      | 古田 直美  | 周産母子センター         | ¥1,000,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| アルツハイマー病の脳内 $\alpha 7$ ニコチン受容体とアミロイド蓄積の病態解明研究 | 寺田 達弘  | 生体機能イメージング研究室    | ¥1,700,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 神経性無食欲症におけるセロトニン系異常とミクログリア活性化：PETによる研究        | 横倉 正倫  | 精神医学             | ¥1,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 爪郭部毛細血管叢による自閉症早期診断法の確立                        | 青山 美紗子 | 精神科神経科           | ¥1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 摂食障害に対する認知行動療法における脳部位間機能的結合ー機能的MRIによる研究       | 望月 洋介  | 精神科神経科           | ¥900,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |

|   |        |                  |            |    |               |
|---|--------|------------------|------------|----|---------------|
| 原発性胆汁性肝硬変症における転写因子Nr2f2の機能解析と治療基盤の創出      | 川田 一仁  | 第二内科             | ¥1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 質量顕微鏡を用いた肝癌微小環境における脂質合成・代謝経路の解析           | 森田 剛文  | 第二外科             | ¥1,000,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 男児外性器異常発症に関与する環境因子と遺伝因子の複合的作用についての研究      | 大石 彰   | 地域周産期医療学講座（寄附講座） | ¥1,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| フィラグリンモノマー過剰発現マウスにおける皮膚免疫機能の評価と天然保湿因子の役割  | 池谷 茂樹  | 皮膚科              | ¥1,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| プロフィラグリンのプロセッシングにおけるC末領域の機能解析とガレクチン7の共同作用 | 坂部 純一  | 皮膚科学             | ¥1,500,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 光活性化アデニル酸シクラーゼによる悪性黒色腫細胞内cAMPの調節と細胞応答     | 藤山 俊晴  | 皮膚科学             | ¥1,500,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 遺伝学的手法を用いた医療系学生と患者間におけるMRSAの伝播に関する研究      | 橋本 大   | 保健管理センター         | ¥900,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 乳がん描出における時間分解分光法と核磁気共鳴画像法との生物学的相違研究       | 芳澤 暢子  | 放射線科             | ¥500,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 薬理学的安定化による脳動脈瘤破裂予防の研究                     | 牧野 洋   | 麻酔科蘇生科           | ¥500,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| がん患者におけるオピオイドの鎮痛効果とドパミン神経系に及ぼす影響との関係解明    | 等 浩太郎  | 薬剤部              | ¥1,000,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 不規則抗体が関与する遅発性溶血性輸血副作用の解明—前方向多施設共同研究の推進—   | 藤原 晴美  | 輸血・細胞治療部         | ¥1,700,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| マイクロサテライト不安定性標的遺伝子MBD4変異と大腸がん薬物療法の感受性変化   | 岩泉 守哉  | 臨床腫瘍学            | ¥1,000,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 探索的脳研究に寄与する脳深部蛍光イメージング法の開発                | 山本 清二  | イノベーション光医学       | ¥500,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 精子運動を亢進し受精率を改善する薬剤開発を目指したトランスレーショナル・リサーチ  | 杉原 一廣  | 産婦人科学            | ¥1,500,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| PAI-1測定による常位胎盤早期剥離の予知、予防法の開発              | 金山 尚裕  | 産婦人科学            | ¥1,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 質量顕微鏡法によるヒト胎盤絨毛解析—病態特異的生体高分子マーカー同定を目指して—  | 伊東 宏晃  | 周産母子センター         | ¥900,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 自閉症スペクトラム障害のセロトニン系・コリン系に及ぼす活性化ミクログリアの影響   | 飯田 妙子  | 精神科神経科           | ¥1,500,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| リンパ管内皮細胞：新規培養技術に基づくVEGF-Cシグナル機構の解明        | 平川 聡史  | 皮膚科学             | ¥1,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| PETプローブのチェレンコフ光を利用した光イメージングと光治療法への技術展開    | 小川 美香子 | 分子病態イメージング       | ¥1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 生殖補助医療が胎盤の構造・機能の変化を介して分娩時出血量に及ぼす影響の解析     | 谷口 千津子 | 産科婦人科            | ¥1,000,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| いじめによる精神健康被害の大規模疫学調査及びいじめ予防プログラムの実施とその効果  | 武井 教使  | 子どものこころの発達研究センター | ¥2,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 精神疾患の創薬に貢献する保護・傷害型ミクログリア活性のin vivo画像法の開発  | 尾内 康臣  | 生体機能イメージング研究室    | ¥1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 自閉症脳におけるエピジェネティクス解析                       | 岩田 泰秀  | 精神科神経科           | ¥1,500,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 非侵襲的採取角層を用いたプロテオーム解析によるアトピー性皮膚炎バリア異常の評価   | 戸倉 新樹  | 皮膚科学             | ¥1,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |

|   |        |               |             |    |                       |
|---|--------|---------------|-------------|----|-----------------------|
| 生体内金属関連反応の画像化を目指した金属核種を必要としない低分子PET薬剤の開発  | 間賀田 泰寛 | 分子病態イメージング研究室 | ¥1,000,000  | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会         |
| アレルギー性疾患の先制医療を目指して：アトピー性皮膚炎における鼻腔常在菌叢の意義  | 前川 真人  | 臨床検査医学        | ¥1,100,000  | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会         |
| 血清CA19-9の個体内変動幅が個体間で異なる原因は遺伝的要因によるものか   | 濱田 悦子  | 検査部           | ¥600,000    | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会         |
| 多発性骨髄患者における体内動態の解析に基づいたボルテゾミブ治療の最適化   | 大澤 隆志  | 薬剤部           | ¥600,000    | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会         |
| がん悪液質館座における炎症性サイトカインがオキシコドンの体内動態に及ぼす影響  | 佐藤 聖   | 薬剤部           | ¥600,000    | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会         |
| アプレピタントがワルファリンの薬効および薬物動態に及ぼす影響の解析   | 高井 伸彦  | 薬剤部           | ¥700,000    | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会         |
| 悪性腫瘍剤ダカルバジンの光分解物濃度と血管痛との関係解明及び最適調製条件の確立   | 田代 将貴  | 薬剤部           | ¥600,000    | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会         |
| 卵巣癌腹膜転移に対するヒトモノクローナル抗体を用いたトランスレーショナルリサーチ  | 柴田 俊章  | 産科婦人科         | ¥1,000,000  | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会         |
| 自閉症の病態研究と新たな診療技法（診断・予防・治療）の開発   | 森 則夫   | 精神医学講座        | ¥75,977,000 | 補委 | 文部科学省研究振興局            |
| 成長障害、および過成長を示すインプリンティング異常症に関する研究  | 緒方 勤   | 小児科学講座        | ¥400,000    | 補委 | (独) 国立成育医療研究センター      |
| 小児の失明に関わる遺伝性視覚障害の原因と病態解明  | 堀田喜裕   | 眼科学講座         | ¥2,000,000  | 補委 | (独) 国立成育医療研究センター      |
| 医療情報データベース分析手法高度化のためのデータ検証（バリデーション）   | 木村通男   | 医療情報部         | ¥12,279,284 | 補委 | 厚生労働省医薬食品局            |
| 指接着型の胎児パルスオキシメーターの開発  | 金山尚裕   | 産婦人科学講座       | ¥772,025    | 補委 | (独) 科学技術振興機構          |
| 脳梗塞再発高リスク患者を対象とした抗血小板薬併用療法の有効性及び安全性の検討  | 難波宏樹   | 脳神経外科学        | ¥21,600     | 補委 | (公財) 循環器病研究振興財団       |
| がん薬物療法によって出現する皮膚障害の発症メカニズムに関する基礎的研究   | 平川聡史   | 皮膚科学講座        | ¥300,000    | 補委 | (独) 国立がん研究センター理事長     |
| 先天性内分泌疾患の症例登録と長期予後追跡  | 緒方 勤   | 小児科学講座        | ¥1,000,000  | 補委 | (独) 国立成育医療研究センター      |
| 保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究－ダルベポエチン アルファ製剤低反応に関する検討－ (BRIGHTEN)  | 安田 日出夫 | 第一内科          | ¥140,400    | 補委 | (公財) 先端医療振興財団         |
| 子宮内膜症に対するペプチド治療薬の探索   | 杉原 一廣  | 産婦人科学講座       | ¥33,085,368 | 補委 | (独) 医薬基盤研究所           |
| 低リスク前立腺癌患者を対象とした低用量クロルマジノン酢酸エステルのアクティブサーベイランス継続率に対する効果を検討する多施設共同、プラセボ対照、無作為化二重盲検群間比較試験                | 杉山 貴之  | 泌尿器科学講座       | ¥108,000    | 補委 | (公財) パブリックヘルスリサーチセンター |
| 低ホスファターゼ症 (HPP) 患者を対象としたAsfotase Alfa (ALXN1215) (ヒト遺伝子組換え組織非特異的アルカリホスファターゼ融合蛋白) の安全性、有効性を検討する多施設共同試験 | 緒方 勤   | 小児科学講座        | ¥280,800    | 補委 | (公財) 先端医療振興財団         |
| 根治切除不能または転移性の腎細胞癌患者に対する1st line TKI療法不応後のエベロリムスの有効性及び安全性の検討   | 大園誠一郎  | 泌尿器科学講座       | ¥421,200    | 補委 | (公財) パブリックヘルスリサーチセンター |
| 石英ガラスを用いて接触観察を可能とした処置用消化管内視鏡の開発   | 大澤 恵   | 光学医療診療部       | ¥471,900    | 補委 | (独) 科学技術振興機構          |
| 手術療法の標準化に向けた消化器外科専門医育成に関する研究  | 今野 弘之  | 外科学第二         | ¥10,400,000 | 補委 | 厚生労働省科学研究費            |
| 治験活性化に資するGCPの運用等に関する研究  | 渡邊 裕司  | 臨床薬理学         | ¥4,750,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費            |

|  |        |                     |            |      |                |
|--|--------|---------------------|------------|------|----------------|
| びまん性肺疾患に関する調査研究                                    | 須田 隆文  | 内科学第二               | ¥500,000   | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| 摂食障害の診療体制整備に関する研究                                  | 森 則夫   | 精神医学                | ¥740,000   | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| がん診療ガイドライン普及促進とその効果に関する研究及び同ガイドライン事業の在り方に関する研究     | 今野 弘之  | 外科学第二               | ¥300,000   | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| 脊柱靭帯骨化症に関する調査研究                                    | 松山 幸弘  | 整形外科                | ¥700,000   | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| 重症薬疹の病態解明および発症予測、重症度予測マーカーの検索                      | 戸倉 新樹  | 皮膚科学                | ¥1,500,000 | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| アトピー性皮膚炎の難治性皮膚病変の病態解析と病態に基づいたピンポイントな新規治療の開発        | 戸倉 新樹  | 皮膚科学                | ¥2,000,000 | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| 難治性血管腫・血管奇形・リンパ管腫・リンパ管腫症および関連疾患についての調査研究           | 平川 聡史  | 皮膚科学                | ¥350,000   | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| 標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発                     | 大園 誠一郎 | 泌尿器科学               | ¥300,000   | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| 中隔視神経異形成症の実態調査と診断基準・重症度分類の作成に関する研究                 | 佐藤 美保  | 眼科学                 | ¥150,000   | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| 母子感染の実態把握及び検査・治療に関する研究                             | 金山 尚裕  | 産婦人科学               | ¥1,500,000 | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| 周産期医療と他領域との効果的な協働体制に関する研究                          | 金山 尚裕  | 産婦人科学               | ¥1,000,000 | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| 生殖補助医療により出生した児の長期予後と技術の標準化に関する研究                   | 緒方 勤   | 小児科学                | ¥2,000,000 | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| 国際標準に立脚した奇形症候群領域の診療指針に関する学際的・網羅的検討                 | 緒方 勤   | 小児科学                | ¥1,500,000 | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| ライソゾーム病（ファブリ病含む）に関する調査研究                           | 福田 冬季子 | 小児科学                | ¥900,000   | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| 機能遺伝子多型に係る人種差に関する研究                                | 渡邊 裕司  | 臨床薬理学               | ¥450,000   | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| 被災後の子どものこころの支援に関する研究                               | 杉山 登志郎 | 児童青年期精神医学<br>(寄附講座) | ¥2,000,000 | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| 間脳下垂体機能障害における診療ガイドライン作成に関する研究                      | 沖 隆    | 地域家庭医療学             | ¥400,000   | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| 低出生体重児の予後及び保健的介入並びに妊婦及び乳幼児の体格の疫学的調査手法に関する研究        | 土屋 賢治  | 子どものこころの発達研究センター    | ¥1,500,000 | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| 小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究           | 川原 央好  | 小児外科                | ¥200,000   | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| 200ml献血由来の赤血球濃厚液の安全性と有効性の評価及び初回献血を含む学校献血の推進等に関する研究 | 竹下 明裕  | 輸血・細胞治療部            | ¥350,000   | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| 腹膜播種を伴う胃癌に対するパクリタキセル腹腔内投与併用療法の有用性を評価する第Ⅲ相臨床試験      | 太田 学   | 腫瘍センター<br>(化学療法部)   | ¥200,000   | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |
| WHOのチェックリストを用いた日本版「手術安全簡易評価システム」の開発と適応に関する研究       | 鈴木 明   | 医療安全管理室             | ¥450,000   | (補)委 | 厚生労働省<br>科学研究費 |

計 ¥424,897,577

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

- (注) 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- (注) 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印を付けた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名      | 発表者の所属 | 題名   | 雑誌名   |
|----|------------|--------|--|---|
| 1  | Sugimoto M | 第1内科   | Efficacy of tailored Helicobacter pylori eradication treatment based on clarithromycin susceptibility and maintenance of acid secretion                  | Helicobacter 19: 312-8, 2014.                 |
| 2  | Sugimoto M | 第1内科   | Treatment Option for Patients with Non-Erosive Gastroesophageal Reflux Disease Refractory to a Standard Proton Pump Inhibitor                            | Global J Gastroenterol Hepatol 2:59-68, 2014. |
| 3  | Sugimoto M | 第1内科   | Comparison of acid inhibition with standard dosages of proton pump inhibitors in relation to CYP2C19 genotype in Japanese                                | Eur J Clin Pharmacol 70:1073-8, 2014.         |
| 4  | Ichikawa H | 第1内科   | Influence of prostate stem cell antigen gene polymorphisms on susceptibility to Helicobacter pylori-associated diseases: a case-control study            | Helicobacter 20:106-13, 2015.                 |
| 5  | Ichikawa H | 第1内科   | False Sero-Negative Results for Helicobacter pylori Infection Indicate Increased Risk of Severe Atrophic Gastritis in Japanese Patients                  | J Carcinog Mutagen 5:5, 2014.                 |
| 6  | Sahara S   | 第1内科   | Potent gastric acid inhibition over 24 hours by 4-times daily dosing of esomeprazole 20 mg   | Digestion 91:277-85, 2015.                    |
| 7  | Uotani T   | 第1内科   | Prevention of gastric mucosal injury induced by anti-platelet drugs by famotidine  | J Clin Pharmacol 54(8):858-64, 2014.          |
| 8  | Ohashi N,  | 第1内科   | Alogliptin improves steroid-induced hyperglycemia in treatment-naïve Japanese patients with chronic kidney disease by decrease of plasma glucagon levels | Med Sci Monit 10(20): 587-93, 2014.           |
| 9  | Isobe S,   | 第1内科   | Disturbed circadian rhythm of the intrarenal renin-angiotensin system: relevant to nocturnal hypertension and renal damage                               | Clin Exp Nephrol 19: 231-9, 2014.             |
| 10 | Ono M      | 第1内科   | Role of intrarenal (pro)renin receptor in ischemic acute kidney injury in rats.  | Clin Exp Nephrol 19:185-96, 2014.             |
| 11 | Sakao M    | 第1内科   | Aberrant fetal macrophage/microglial reactions to cytomegalovirus infection.   | Ann Clin Transl Neurol 1(8): 570-588, 2014.   |
| 12 | Kono S     | 第1内科   | An altered GABA-A receptor function in spinocerebellar ataxia type 6 and familial hemiplegic migraine type 1 associated with the CACNA1A gene mutation   | BBA-Clinical 2:56-61, 2014.                   |

|    |              |      |  |   |
|----|--------------|------|--|---|
| 13 | Kato M,      | 第2内科 | Plasma connective tissue growth factor levels as potential biomarkers of airway obstruction in patients with asthma  | Ann Allergy Asthma Immunol 113(3): 295-300, 2014. |
| 14 | Enomoto N    | 第2内科 | Quantitative analysis of lung elastic fibers in idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosis (IPPFE): comparison of clinical, radiological, and pathological findings with those of idiopathic pulmonary fibrosis (IPF) | BMC Pulm Med 14: 91, 2014.                        |
| 15 | Harada M     | 第2内科 | YB-1 promotes transcription of cyclin D1 in human non-small-cell lung cancers.   | Genes Cells 19(6): 504-16, 2014.                  |
| 16 | Uto T        | 第2内科 | Serial QuantiFERON TB-2G testing over a four-year period in healthcare workers at a city hospital  | Intern Med 53(11): 1119-24, 2014.                 |
| 17 | Shirai T,    | 第2内科 | Exhaled nitric oxide measurement may predict asthma exacerbation after stepping down formoterol/budesonide combination therapy in adult asthma   | J Allergy Ther 5: 173, 2014.                      |
| 18 | Tsuchiya T   | 第2内科 | Risk of performing multiple logistic regression analysis without considering multiplicity: an overview for clinicians and practitioners  | J Med Stat Inform 2:7, 2014.                      |
| 19 | Ito Y,       | 第2内科 | Aprepitant in patients with advanced non-small-cell lung cancer receiving carboplatin-based chemotherapy.  | Lung Cancer 84(3): 259-64, 2014.                  |
| 20 | Fujisawa T,  | 第2内科 | Prognostic factors for myositis-associated interstitial lung disease   | PLoS One 9(6): e98824, 2014.                      |
| 21 | Kono M       | 第2内科 | Usual interstitial pneumonia preceding collagen vascular disease: a retrospective case control study of patients initially diagnosed with idiopathic pulmonary fibrosis  | PLoS One 9(4): e94775, 2014.                      |
| 22 | Matsushima S | 第2内科 | Indacaterol and tiotropium combination therapy in patients with chronic obstructive pulmonary disease  | Pulm Pharmacol Ther 30(1): 11-5, 2014.            |
| 23 | Fujii M      | 第2内科 | Inspiratory resonant frequency of forced oscillation technique as a predictor of the composite physiologic index in interstitial lung disease  | Respir Physiol Neurobiol. 207:22-7. 2015          |
| 24 | Enomoto N,   | 第2内科 | Treatment of acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis with direct hemoperfusion using a polymyxin B-immobilized fiber column improves survival.   | BMC Pulm Med. 15(1):15. 2015.                     |
| 25 | Akamatsu T   | 第2内科 | Evaluation of antibody levels over 3 years after 23-valent pneumococcal polysaccharide vaccination in patients with pulmonary diseases receiving steroids and immunosuppressive agents                                 | Clin Biochem. 48(3):125-9. 2015.                  |
| 26 | Hozumi H     | 第2内科 | Prognostic Significance of Anti-Aminoacyl-tRNA Synthetase Antibodies in Polymyositis/Dermatomyositis-Associated Interstitial Lung Disease: A Retrospective Case Control Study  | PLoS One. 10(3):e0120313 . 2015.                  |

|    |            |      |  |  |
|----|------------|------|--|--|
| 27 | Shirai T   | 第2内科 | Real-world effect of gastroesophageal reflux disease on cough-related quality of life and disease status in asthma and COPD.   | Allergol Int. 64(1):79-83. 2015.   |
| 28 | Iwaki H    | 第2内科 | Essential role of TEA domain transcription factors in the negative regulation of the MYH 7 gene by thyroid hormone and its receptors.                                      | PLoS One. 2014 9(4):e88610.  |
| 29 | Morioka T  | 第2内科 | Non-islet cell tumor-induced hypoglycemia associated with macronodular pulmonary metastases from poorly differentiated thyroid carcinoma.                                  | Thyroid. 24(2):395-9, 2014   |
| 30 | Watanabe S | 第2内科 | Long-term Pegylated Interferon Monotherapy Following 72 Weeks of Pegylated Interferon and Ribavirin in Hepatitis C Virus Genotype-1-infected Slow Responders.              | Internal Med 54: 273-279, 2015   |
| 31 | Noritake H | 第2内科 | TGF $\alpha$ , c-MYC, mutated CTNNB1 and their combinations act distinctly on the Hep3B tumors in nude mice  | Med J Osaka Univ 56: 11-21, 2014.  |
| 32 | Suwa K     | 第3内科 | Functional, morphological and electrocardiographical abnormalities in patients with apical hypertrophic cardiomyopathy and apical aneurysm: correlation with cardiac MR.   | Open Heart. 1(1): e000124, 2014. 【循環器学】                                  |
| 33 | Katoh H    | 第3内科 | Microtubule Disorganization Affects the Mitochondrial Permeability Transition Pore in Cardiac Myocytes.  | Circ J 78:1206-15, 2014. 【細胞生物学】   |
| 34 | Sano M     | 第3内科 | Characteristics and clinical relevance of late gadolinium enhancement in cardiac magnetic resonance in patients with systemic sclerosis.                                   | Heart Vessels. 2014 Jul 5. [Epub ahead of print] 循環器学】                   |
| 35 | Watanabe T | 第3内科 | Roles of mitochondrial fragmentation and reactive oxygen species in mitochondrial dysfunction and myocardial insulin resistance.   | Exp Cell Res 323:314-325, 2014. 【細胞生物学】                                  |
| 36 | Satoh H    | 第3内科 | Distribution of late gadolinium enhancement in end-stage hypertrophic cardiomyopathy and dilated cardiomyopathy: Differential diagnosis and prediction of cardiac outcome. | Magnetic Resonance Imaging 32: 118-124, 2014. 【循環器学】                     |
| 37 | Suwa K     | 第3内科 | Characteristics of intra-left atrial flow dynamics and factors affecting formation of the vortex flow.   | Circ J, 2015, 79(1) 144-152. 【循環器学】                                      |
| 38 | Nagata Y   | 第3内科 | Glutaraldehyde fixation method for single-cell lipid analysis by time-of-flight secondary ion-mass spectrometry.   | Surf Interface Anal 46: 185-188, 2014 【分子生物学】                            |
| 39 | Wakuda T   | 精神科  | Perinatal asphyxia alters neuregulin-1 and COMT gene expression in the medial prefrontal cortex in rats.   | Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry. 2015 Jan 2; 56:149-54. 【精神医学】 |

|    |            |      |  |   |
|----|------------|------|--|---|
| 40 | Vasu MM    | 精神科  | Serum microRNA profiles in children with autism.   | Mol Autism. 2014 Jul 30; 5:40. 【精神医学】         |
| 41 | Iwashima S | 小児科  | Quantitative, noninvasive assessment of patent ductus arteriosus shunt flow by measuring proximal isovelocity surface area on color Doppler imaging                                    | Circ J. 2014;78(9):230-238. Epub 2014 Jul 9   |
| 42 | Ogata T    | 小児科  | Disorder of sex development in an infant with molecularly confirmed 46,XY,+der(10)t(10;21)(q21.1;q21.3),-21  | Am J Med Genet A 164(3):841-843, 2014         |
| 43 | Ogata T    | 小児科  | Hypertrophic cells in hypophagic intrauterine growth retarded rats without catch-up growth.  | Kitasato Med J 44(1):38-46, 2014.             |
| 44 | Ogata T    | 小児科  | IMAGE syndrome: clinical and genetic implications based on investigations in three Japanese patients.  | Clin Endocrinol 80(5):706-713, 2014           |
| 45 | Ogata T    | 小児科  | TBX1 mutation identified by exome sequencing in a Japanese family with 22q11.2 deletion syndrome-like craniofacial features and hypocalcemia   | PLoS One 9(3):e91598, 2014                    |
| 46 | Ohishi A   | 小児科  | Early vitamin K deficiency bleeding in a neonate associated with maternal Crohn's disease.   | J Perinatol 34(8):636-639, 2014.              |
| 47 | Ogata T    | 小児科  | Clinical and molecular studies in four patients with SRY-positive 46,XX testicular disorders of sex development: implications for variable sex development and genomic rearrangements. | J Hum Genet 59(10):549-53, 2014               |
| 48 | Ogata T    | 小児科  | Japanese founder duplications/triplications involving BHLHA9 are associated with split-hand/foot malformation with or without long bone deficiency and Gallop-Wolfgang complex         | Orphanet J Rare Dis 9(1):125, 2014            |
| 49 | Iwashima S | 小児科  | Hemodynamic assessment in a child with renovascular hypertension using time-resolved three-dimensional cine phase-contrast MRI   | J Magn Reson Imaging 41(1):165-168, 2015      |
| 50 | Ogata T    | 小児科  | Silver-Russell syndrome without body asymmetry in three patients with duplications of maternally derived chromosome 11p15 involving CDKN1C.  | J Hum Genet 60(2):91-95, 2015                 |
| 51 | Kawahara H | 小児外科 | Does laparoscopy-aided gastrostomy placement improve or worsen gastroesophageal reflux in patients with neurological impairment?   | J Pediatr Surg, 49, 1742-1745, 2014.          |
| 52 | Kawahara H | 小児外科 | Physiological analysis of the effects of rikkunshito on acid and non-acid gastroesophageal reflux using pH-multichannel intraluminal impedance monitoring.                             | Pediatr Surg Int, 30, 927-931. 2014.          |
| 53 | Ohkura K,  | 第1外科 | Vertebral artery variations in thoracic aortic patients  | Eur J Cardiothorac Surg. 2014 Jul;46(1):27-31 |

|    |             |       |  |  |
|----|-------------|-------|--|--|
| 54 | Tsuda K     | 第1外科  | Transoesophageal spinal cord stimulation for motor-evoked potentials monitoring: feasibility, safety and stability.  | Eur J Cardiothorac Surg. 2014 Dec 18             |
| 55 | Y Ide       | 第1外科  | Single cell lipidomics of SKBR-3 breast cancer cells by using time-of-flight secondary-ion mass spectrometry   | Surface and Interface Analysis 2014, 46, 181-184 |
| 56 | Ide Y,      | 第1外科  | Single-cell time-of-flight secondary ion mass spectrometry reveals that human breast cancer stem cells have significantly lower content of palmitoleic acid compared to their counterpart non-stem cancer cells. | Biochimie. 2014 Dec;107 Pt A:73-7.               |
| 57 | Tochikubo J | 第1外科  | Landirolol reduces hemodynamic responses to bronchoscopy-assisted suctioning in intubated ICU patients.  | J Intensive Care. 2014 Jan 23;2(1):6.            |
| 58 | Sato M      | 第1外科  | Asynchronous abdomino-parasacral resection of a giant pelvic lipoma protruding to the left buttock.  | Int J Surg Case Rep. 5(12): 975-978 2014         |
| 59 | Sakaguchi T | 第2外科  | Detection of intrahepatic veno-venous shunts by three-dimensional venography using multidetector-row computed tomography during angiography  | Surg Today 44:662-667, 2014.                     |
| 60 | Kikuchi H   | 第2外科  | Laparoscopic Narrow-Band Imaging for the Diagnosis of peritoneal Metastasis in Gastric Cancer.   | Ann Surg Oncol 21(12):3954-3962, 2014.           |
| 61 | Miyazaki S  | 第2外科  | Three-dimensional fusion images combining CT gastrography and CT angiography for early gastric cancer.   | Asian J Endosc Surg. 8(1):54-58, 2015.           |
| 62 | Shibasaki Y | 第2外科  | Expression of indocyanine green-related transporters in hepatocellular carcinoma   | J of Surg Res. 193(2):567-576, 2015.             |
| 63 | Kamiya K    | 第2外科  | Quantitative assessment of the free jejunal graft perfusion.   | J Surg Res. 194(2) 394-399, 2015.                |
| 64 | Kamio Y     | 脳神経外科 | Usefulness of intraoperative monitoring of visual evoked potentials in transsphenoidal surgery.  | Neurol Med Chir (Tokyo) 54(8): 606-611, 2014     |
| 65 | Yamazoe T   | 脳神経外科 | Potent tumor tropism of induced pluripotent stem cells and induced pluripotent stem cell-derived neural stem cells in the mouse intracerebral glioma model.  | Int J Oncol. 46(1): 147-52. 2015                 |
| 66 | Arima H     | 整形外科  | Blockade of IL-6 signaling by MR16-1 inhibits reduction of docosahezaenoic acid-containing phosphatidylcholine levels in a mouse model of spine cord injury  | Neuroscience 269: 1-10, 2014.                    |
| 67 | Arima H     | 整形外科  | Feasibility of a novel diagnostic chart of intramedullary spinal cord tumors in magnetic resonance imaging.  | Spinal Cord 52(10) : 769-73, 2014.               |
| 68 | Yasuda T    | 整形外科  | Hypoglossal nerve palsy as a complication of an anterior approach for cervical spine surgery.  | Asian Spine J. 9(2) : 295-8, 2015.               |

|    |             |      |   |  |
|----|-------------|------|---|--|
| 69 | Kasuya A    | 皮膚科  | Potential application of in vivo imaging of impaired lymphatic duct to evaluate the severity of pressure ulcer in mouse model.  | Sci Rep 4: 4173, 2014.                         |
| 70 | Ito T       | 皮膚科  | Efficacious treatment of psoriasis with low-dose and intermittent cyclosporine microemulsion therapy.   | J Dermatol 41: 377-381, 2014.                  |
| 71 | Suzuki T    | 皮膚科  | VEGF-A promotes IL-17A-producing $\gamma \delta$ T cell accumulation in mouse skin and serves as a chemotactic factor for plasmacytoid dendritic cells.   | J Dermatol Sci 74: 116-124, 2014.              |
| 72 | Fujiyama T  | 皮膚科  | Induction of cytotoxic T cells as a novel independent survival factor in malignant melanoma with percutaneous peptide immunization.   | J Dermatol Sci 75: 43-48, 2014.                |
| 73 | Fujiyama T  | 皮膚科  | Preferential infiltration of interleukin-4-producing CXCR4+ T cells in the lesional muscle but not skin of patients with dermatomyositis.   | Clin Exp Immunol 177: 110-120, 2014.           |
| 74 | Sakabe J    | 皮膚科  | Calcipotriol increases hCAP18 mRNA expression but inhibits extracellular LL37 peptide production in IL-17/IL-22-stimulated normal human epidermal keratinocytes.                                      | Acta Derm Venereol 94: 512-516, 2014.          |
| 75 | Sakabe J    | 皮膚科  | Proteome analysis of stratum corneum from atopic dermatitis patients by hybrid quadrupole-orbitrap mass spectrometer.   | J Allergy Clin Immunol 134: 957-967. e8, 2014. |
| 76 | Kuriyama S  | 皮膚科  | Leukoderma in patients with atopic dermatitis.  | J Dermatol 42: 215-218, 2015.                  |
| 77 | Fujiyama T  | 皮膚科  | Increased frequencies of Th17 cells in drug eruptions.  | J Dermatol Sci 73: 85-88, 2014.                |
| 78 | Yamaguchi H | 皮膚科  | Psychological aspects of patients with intrinsic atopic dermatitis.   | Eur J Dermatol 24: 253-254, 2014.              |
| 79 | Fujiyama T  | 皮膚科  | Melanocyte-specific cytotoxic T lymphocytes in patients with rhododendrol-induced leukoderma.   | J Dermatol Sci 77: 190-192, 2015.              |
| 80 | Kasuya A    | 皮膚科  | Structural and immunological effects of skin cryoablation in a mouse model.   | PLoS One, 10 :e0123906, 2015.                  |
| 81 | Zhao Y      | 眼科   | The first USH2A mutation analysis of Japanese autosomal recessive retinitis pigmentosa patients: a totally different mutation profile with the lack of frequent mutations found in Caucasian patients | J Hum Genet 59, 521-528.                       |
| 82 | Nakanishi H | 耳鼻科  | Mutations of TMC1 cause deafness by disrupting mechano-electrical transduction.   | Auris Nasus Larynx 41: 399-408, 2014.          |
| 83 | Hosokawa S  | 耳鼻科  | Carcinoma of the external auditory canal: histological and treatment groups.  | B-ENT. 2014;10(4):259-64.                      |
| 84 | Tamura N    | 産婦人科 | Cl esterase inhibitor activity in amniotic fluid embolism.  | Crit care med. 42(6): 1392-1396, 2014.         |

|    |            |        |  |  |
|----|------------|--------|--|--|
| 85 | Itoh H     | 産婦人科   | Obesity and risk of preeclampsia   | Med J Obstet Gynecol. 2(2): 1024, 2014   |
| 86 | Sugihara K | 産婦人科   | Development of pro-apoptotic peptides as potential therapy for peritoneal endometriosis.   | Nature communications . 22;5: 4478(:1-9) doi: 0.1038/ncomms5478, 2014.                                 |
| 87 | Suzuki K   | 産婦人科   | Measurement of maternal cerebral tissue hemoglobin levels by Near-infrared time-resolved spectroscopy (TRS) in the peripartum period       | J Obstet Gynaecol Res. 12, 2014. doi: 10.1111/jog.12639.   |
| 88 | Uchida T   | 産婦人科   | Examiner's finger-mounted fetal tissue oximetry: a preliminary report on 30 cases  | J Perinat Med 2015 Dec 1. pii: /j/jpme.ahead-of-print/jpm-2014-0297/jpm-2014-0297.xml (PMID: 25781515) |
| 89 | Kanayama N | 産婦人科   | Amniotic fluid embolism: pathophysiology and new strategies for management.  | J Obstet Gynaecol Res. 40(6): 1507-1517, 2014.   |
| 90 | Tamura N   | 産婦人科   | Amniotic fluid embolism induces uterine anaphylaxis and atony following cervical laceration.   | Gynecol Obstet Invest. 78(1): 65-68, 2014.   |
| 91 | Kanayama N | 産婦人科   | Examiner's finger-mounted fetal tissue oximetry  | J Biomed Opt. 19(6): 067008, 2014.   |
| 92 | Zhu H      | 放射線科   | Relationship between uptake of a radioiodinated quinazoline derivative and radiosensitivity in non-small cell lung cancer.                 | Am J Nucl Med Mol Imaging 4 : 293-302, 2014.   |
| 93 | Makino H   | 麻酔科蘇生科 | Translational research using a mouse model of intracranial aneurysm.   | Transl Stroke Res. 5: 248-5, 2014.   |
| 94 | Yu Shuchun | 麻酔科蘇生科 | Hypocapnia delays subsequent bupivacaine cardiotoxicity in rats under sevoflurane anesthesia   | SpringerPlus 2014, 3:371   |
| 95 | Nagata T   | 歯科口腔外科 | Improved technique for evaluating oral free flaps by pinprick testing assisted by indocyanine green near-infrared fluorescence angiography | J Craniomaxillofac Surg 42: 1112-1116, 2014.   |
| 96 | Nakajima T | 歯科口腔外科 | Regulation of GATA binding protein 2 levels via ubiquitin-dependent degradation by Fbw7.   | J Biol Chem 2015 in press.   |
| 97 | Nakamura K | 歯科口腔外科 | Effects of hydroxyl groups in the A-ring on the anti-proteasome activity of flavone  | Biol Pharm Bull 2015 in press.   |

|     |                 |         |   |  |
|-----|-----------------|---------|---|--|
| 98  | Fujiwara M      | 形成外科    | Measurement of cutaneous lymphatic flow rates in patients with skin cancer: area extraction method.   | J Dermatol 41(9):498-504, 2014.                |
| 99  | Takiguchi T     | 形成外科    | Cathelicidin antimicrobial peptide LL-37 augments interferon- $\beta$ expression and antiviral activity induced by double-stranded RNA in keratinocytes                 | Br J Dermatol. 171(3):492-498, 2014.           |
| 100 | Mizukami T      | 形成外科    | Reconstruction for extensive groin hidradenitis suppurativa using a combination of inferior abdominal flap and medial thigh-lift: a case report.                        | Aesth Plast Surg 38:745-748, 2014.             |
| 101 | Odagiri K       | 臨床薬理学   | Waist to Height Ratio is an Independent Predictor for the Incidence of Chronic Kidney Disease.  | PLOS ONE, 9(2):e88873, 2014.                   |
| 102 | Wei J           | 臨床薬理学   | Blockage of LMP1-modulated store-operated Ca <sup>2+</sup> entry reduces metastatic potential in nasopharyngeal carcinoma cell.   | Cancer Lett, 360(2):234-244, 2015.             |
| 103 | Kono M          | 検査部     | Usual interstitial pneumonia preceding collagen vascular disease: a retrospective case control study of patients initially diagnosed with idiopathic pulmonary fibrosis | PLoS One. 2014 Apr 15;9(4):e94775 .            |
| 104 | Hori K          | 薬剤部     | Changes in compliance with Japanese antiemetic guideline for chemotherapy-induced nausea and vomiting: a nationwide survey using a distributed research network.        | Support Care Cancer 22: 969-977, 2014          |
| 105 | Tanaka N        | 薬剤部     | Impact of CYP3A5*3 on plasma exposure and urinary excretion of fentanyl and norfentanyl in the early post-surgical period.  | Ther Drug Monit 36: 345-352, 2014              |
| 106 | Ohshiro J       | 薬剤部     | Modulation of TMEM16A-channel activity as Ca <sup>2+</sup> activated Cl <sup>-</sup> conductance via the interaction with actin cytoskeleton in murine portal vein.     | J Pharmacol Sci 125: 107-111, 2014             |
| 107 | Osawa T         | 薬剤部     | Blood distribution of bortezomib and its kinetics in multiple myeloma patients.   | Clin Biochem 47: 54-59, 2014                   |
| 108 | Naito T         | 薬剤部     | Impact of inflammation and concomitant glucocorticoid administration on plasma concentration of triazole antifungals in immunocompromised patients.                     | Clin Chim Acta 441: 127-132, 2015              |
| 109 | Yukitoshi Sakao | 血液浄化療法部 | Clinical manifestation of hypercalcemia caused by adrenal insufficiency in hemodialysis patients: a case-series study   | Intern Med 53: 1485-1490, 2014 【腎臓内科】          |
| 110 | Akihiko Kato    | 血液浄化療法部 | Association of serum bicarbonate with bone fractures in hemodialysis patients: The Mineral and Bone Disorder Outcomes for Japanese CKD Stage 5D Patients (MBD-5D)       | Nephron Clin Pract 28: 79-87, 2014 【腎臓内科】      |
| 111 | Akihiko Kato    | 血液浄化療法部 | Relationship between arterial stiffening and skeletal atrophy in hemodialysis patients: a gender comparative study  | J Cachexia Sarcopenia Muscle 5: 247-249 【腎臓内科】 |

|     |             |                  |  |   |
|-----|-------------|------------------|--|---|
| 112 | Takehita A  | 輸血・細胞治療部         | Tamibarotene for the treatment of acute promyelocytic leukemia   | Exp Opin Orphan Drugs, 2(9), 961-9, 2014.   |
| 113 | Morishima Y | リハビリテーション部       | Effects of home-based interval walking training on thigh muscle strength capacity in female total hip arthroplasty patients:A randomized pilot study   | Nose H. PloS one 2014.  |
| 114 | Takeuchi S  | リハビリテーション部       | Effects of Synchronization between Cardiac and Locomotor Rhythms on Oxygen Pulse during Walking  | J Sports Sci Med. 2014 Dec; 13(4): 881-887. 2014.   |
| 115 | Yamauchi K, | リハビリテーション部       | Hindlimb venous distention evokes a pressor reflex in decerebrated rats.   | Stone AJ, Kaufman MP Physiol Rep. 2014 Jun 6;2  |
| 116 | Yamauchi K, | リハビリテーション部       | Increased dietary salt intake enhances the exercise pressor reflex   | Stone AJ, Stocker SD, Kaufman MP Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2014 Feb;306(3):H450-4. |
| 117 | Kurita T    | 手術部              | Evaluation of near infrared spectroscopy for detecting the beta blocker-induced decrease in cerebral oxygenation during hemodilution in a swine model. | J Clin Monit Comput [Epub ahead of print]: 2015   |
| 118 | Nagata Y    | 臨床腫瘍学講座          | Palmitic acid, verified by lipid profiling using secondary ion mass spectrometry, demonstrates anti-multiple myeloma activity.                         | Leuk Res. 39:638-45, 2015.  |
| 119 | Watanabe Y  | 臨床検査医学           | Cell line differences in replication timing of human glutamate receptor genes and other large genes associated with neural disease.                    | Epigenetics. 9(10); 1350-1359, 2014.  |
| 120 | Wakusawa K  | 子どものこころの発達研究センター | Adaptive ability to cope with atypical or novel situations involving tool use: an fMRI approach  | Neurosci Res 90: 72-82, 2015. 【神経科学】  |
| 121 | Asano R     | 子どものこころの発達研究センター | Broader autism phenotype as a risk factor for postpartum depression: Hamamatsu Birth Cohort (HBC) Study.   | Research in Autism Spectrum Disorders 8: 1672-78, 2014. 【精神医学】                            |
| 122 | Anitha A    | 子どものこころの発達研究センター | Zinc finger protein 804A (ZNF804A) and verbal deficits in individuals with autism.   | J Psychiatry Neurosci 39(4): 130126, 2014. doi: 10.1503/jpn.130126. 【分子精神医学】              |
| 123 | Furuta T    | 臨床研究管理センター       | Effect of dosing schemes of amoxicillin on eradication rates of Helicobacter pylori with amoxicillin-based triple therapy.                             | J Clin Pharmacol 54:258-66, 2014.   |

|     |          |            |   |  |
|-----|----------|------------|---|--|
| 124 | Furuta T | 臨床研究管理センター | Sitafloxacin-based third-line rescue regimens for Helicobacter pylori infection in Japan.   | J Gastroenterol Hepatol 29:487-93, 2014.   |
| 125 | Furuta T | 臨床研究管理センター | Eradication of H. pylori infection in patients allergic to penicillin by the triple therapy with a PPI, metronidazole and sitafloxacin. | Intern Med 53:571-5, 2014.   |
| 126 | Kimura M | 医療情報部      | A Survey Aimed at General Citizens of the US and Japan about Their Attitudes toward Electronic Medical Data Handling,                   | INTERNATIONAL JOURNAL OF ENVIRONMENTAL RESEARCH AND PUBLIC HEALTH, 11(5): 4572-4588, MAY 2014. DOI: 10.3390/ijerph 110504572 【医療情報学】 |
| 127 | Iijima S | 地域周産期医療学講座 | International normalized ratio testing with point-of-care coagulometer in healthy term neonates.  | BMC Pediatr 14: 179, 2014  |
| 128 | Ohishi A | 地域周産期医療学講座 | Early vitamin K deficiency bleeding in a neonate associated with maternal Crohn's disease.  | J Perinatol 34: 636-639, 2014  |

計 128

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- (注) 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- (注) 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- (注) 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

| 番号 | 発表者氏名 | 発表者の所属 | 題名                                       | 雑誌名                                      |
|----|-------|--------|--|--|
| 1  | 西山孝三  | 第2内科   | DPP-4阻害薬アログリプチンによる血糖改善効果に影響を与える患者背景因子の検討 | Progress in Medicine 34 : 767-772, 2014  |
| 2  | 小松勝利  | 第2内科   | 血中脂肪酸濃度とアログリプチン投与によるHbA1c変化率との相関の検討      | Progress in Medicine 34:1845-1850, 2014. |
| 3  | 余語宏介  | 第2内科   | 電子カルテ連携血糖測定器導入前後の血糖値転記ミスの検討              | 浜松医療センター学術誌 (2186-4608)7巻1号 Page27-29    |
| 4  | 夏目 統  | 小児科    | OASの現状と治療の展望 加熱果物を併用した皮膚プリックテストの有用性.     | 日本ラテックスアレルギー研究会誌. 17(1)19-24, 2014       |

|    |       |      |  |   |
|----|-------|------|--|---|
| 5  | 有馬秀幸  | 整形外科 | 術後の歩行姿勢は社会生活機能を反映するか？-矯正手術を施行した成人脊柱変形患者の歩行解析-                          | 中部整災誌57(3) : 551-552, 2014              |
| 6  | 有馬秀幸  | 整形外科 | 脊髄髄内血管芽腫摘出術前後における痛みの変化   | J Spine Res 5(7) : 1070-1076, 2014      |
| 7  | 古橋弘基  | 整形外科 | 浜松市乳児股関節健診の現状と検討   | 日本小児整形外科学会雑誌 23(2) : 348-351, 2015      |
| 8  | 古橋弘基  | 整形外科 | ソフトウェアを使用し算出した臼蓋被覆の比較.   | Hip Joint 40 : 190-194, 2014.           |
| 9  | 古橋弘基  | 整形外科 | 当科にて加療した歩行開始後に診断された先天性股関節脱臼症例の検討                                       | 中部整災誌 57(4) : 729-730, 2014             |
| 10 | 古橋弘基  | 整形外科 | TKA基礎 変形性膝関節症患者における膝周囲筋肉量と脊椎・下肢矢状面アライメント                               | 日本人工関節学会誌 44 : 755-756, 2014            |
| 11 | 星野裕信  | 整形外科 | 寛骨臼回転骨切り術コンピューターシミュレーションによる寛骨臼被覆率の変化                                   | Hip Joint 40 : 162-165, 2014.           |
| 12 | 星野裕信  | 整形外科 | セメントレスTHA K-MAX Qセメントレスシステムの10年以上のX線学的評価                               | 日本人工関節学会誌44 : 305-306, 2014             |
| 13 | 星野裕信  | 整形外科 | 運動器疾患がロコモとQOLに及ぼす影響-運動器検診の結果より-  | 中部整災誌57(4) : 807-808, 2014              |
| 14 | 星野裕信  | 整形外科 | DDHと関節唇損傷における関節唇の形態特性  | Hip Joint 40 : 86-89, 2014              |
| 15 | 一ノ瀬初美 | 整形外科 | 大腿骨近位部骨折地域連携パスによる治療において急性期を担う医療機関が骨粗鬆症薬を処方する効果の検証                      | Osteoporosis Japan 23(1) : 41-45, 2015. |
| 16 | 一ノ瀬初美 | 整形外科 | 当院における大腿骨近位部骨折に対する地域連携パスを利用した治療の検討                                     | 中部整災誌57(1) : 33-34, 2014                |
| 17 | 一ノ瀬初美 | 整形外科 | 当院における大腿骨近位部骨折地域連携パスの運用と問題点-第3報-                                       | 中部整災誌 57(4) : 785-786, 2014.            |
| 18 | 小林 祥  | 整形外科 | 術中脊髄モニタリング(Br(E)-MsEP)の術前麻痺患者におけるアラームポイント 脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による多施設前向き研究. | 脊髄機能診断学 35(1)2014:139-144, 2015         |
| 19 | 小林 祥  | 整形外科 | 成人脊柱変形に対する骨切り手術における術中神経合併症.  | J Spine Res 5(7) : 1039-1042, 2014      |
| 20 | 小林 祥  | 整形外科 | 成人脊柱変形手術における代償機構も含めた矢状面脊柱バランス.   | J Spine Res 5(10) : 1433-1437, 2014.    |
| 21 | 小山博史  | 整形外科 | 変形性膝関節症患者の立位姿勢における膝屈曲に関連する因子.  | JOSKAS 39(2) : 428-429, 2014.           |

|    |       |      |  |                                    |
|----|-------|------|--|------------------------------------|
| 22 | 小山博史  | 整形外科 | 臥位-立位骨盤傾斜変化と立位spinopelvic sagittal alignment.                        | 中部整災誌57 (2) : 283-284, 2014.       |
| 23 | 小山博史  | 整形外科 | 大腿骨近位内反骨切り術後、下肢機能軸の内方偏位により同側の変形性膝関節症が生じた1例.                          | 中部整災誌57 (5) : 971-972, 2014.       |
| 24 | 小山博史  | 整形外科 | 白蓋前・後捻のX線学的指標 p/a ratio とSharp角の関係.                                  | Hip Joint 40 : 183-186, 2014.      |
| 25 | 澤田智一  | 整形外科 | 特発性前骨間神経麻痺の治療成績と手術時期.  | 日手会誌 30 (6) : 1015-1017, 2014      |
| 26 | 澤田智一  | 整形外科 | 重度手根管症候群における電気生理学的および短母指外転筋筋力回復の検討                                   | 日手会誌 30 (5) : 652-654, 2014        |
| 27 | 澤田智一  | 整形外科 | 長母指伸筋腱断裂を生じた橈骨遠位端骨折の画像所見の特徴.   | 日手会誌31 (2) : 13-15, 2014.          |
| 28 | 安田達也  | 整形外科 | 腹臥位への体位変換にてBr (E)-MsEP波形が消失した胸椎後縦靭帯骨化症の一例                            | 脊髄機能診断学 35(1)2014:152-155, 2015.   |
| 29 | 安田達也  | 整形外科 | 成人脊柱変形患者における愁訴は年齢により異なるか?  | J Spine Res 5 (6) : 914-916, 2014. |
| 30 | 大和 雄  | 整形外科 | 成人脊柱変形例の術前後歩行評価—簡便な歩行評価分類を用いた検討—.                                    | 中部整災誌57 (5) : 1159-1160, 2014      |
| 31 | 大和 雄  | 整形外科 | 成人脊柱変形QOL調査 静岡県臨床整形外科医会診療所での横断的検討.                                   | 日臨整誌39 (2) : 247-251, 2014.        |
| 32 | 大和 雄  | 整形外科 | 骨粗鬆症性腰痛(骨傷あり・なし)の治療戦略 骨粗鬆症性椎体骨折を伴う脊柱変形の矢状面パラメータとQOL.                 | J Spine Res 5 (6) : 905-908, 2014. |
| 33 | 石井保夫  | 泌尿器科 | 複数動脈症例における後腹膜鏡下ドナー腎採取術の左右の選択についての検討                                  | 日本臨床腎移植学会雑誌 2:96-102, 2014. 【腎移植   |
| 34 | 大園誠一郎 | 泌尿器科 | 去勢抵抗性前立腺癌患者においてアピラテロン酢酸エステル投与後にみられた肝機能障害-本邦臨床第I相試験および第II相試験結果からの考察—. | 泌外 28:87-97, 2015. 【泌尿器癌】          |
| 35 | 水田邦博  | 耳鼻科  | 小児後天性弛緩部型真珠腫の検討  | 小児耳 35(3) : 274-280. 2014          |
| 36 | 竹井泰孝  | 放射線部 | 我が国の小児CTで患児がうける線量の実態調査の概要—検査環境に関する因子を中心に—                            | 日放技学誌 70(6) : 562-568, 2014        |
| 37 | 瀧口徹也  | 形成外科 | 多発転移に伴い血小板減少を合併した頭部血管肉腫の1例   | Skin Cancer 29(3) : 323-327, 2014. |
| 38 | 永田武士  | 形成外科 | 片側前額皮弁を用いて再建した2例   | 形成外科 57(8) : 913-919, 2014.        |

|    |      |                  |   |  |
|----|------|------------------|---|--|
| 39 | 花田隆造 | 臨床薬理学            | エボラ出血熱に対する医薬品候補物のコンパッショネート使用について.                         | 臨床薬理, 45(6):263-267, 2014.             |
| 40 | 見野靖晃 | 薬剤部              | 小児患者への処方, 調剤および与薬におけるインシデントの特徴                            | 医療薬学 40: 449-453, 2014                 |
| 41 | 永井聖也 | 輸血・細胞治療部         | 採血患者誤認を契機とした検体照合システムの導入と技師の病棟採血への参加ー臨床側との連携をめざしてー         | 臨床病理, 62(8), 749-54, 2014.             |
| 42 | 竹下明裕 | 輸血・細胞治療部         | アジアにおける赤血球不規則抗体研究 進捗状況と国内調査結果 (総説)                        | 日本輸血細胞治療学会誌, 60(3), 435-441, 2014.     |
| 43 | 吉川久史 | 児童青年期精神医学講座      | 眼球運動が否定的な記憶の鮮明さと感情の強さ、想起内容に及ぼす影響                          | EMDR研究, 6(1):29-42, 2014.              |
| 44 | 中島俊思 | 子どものこころの発達研究センター | 就学前の保育園生活における低出生体重児の発達の特徴: 保育記録による発達尺度 (NDSC) の横断データによる検討 | 小児の精神と神経. 印刷中.<br>【発達心理学】              |
| 45 | 伊藤大幸 | 子どものこころの発達研究センター | 小中学生用社会的不適応尺度の開発と構成概念妥当性の検証                               | 精神医学. 56: 699-708, 2014,<br>【臨床心理学】    |
| 46 | 村山恭朗 | 子どものこころの発達研究センター | 小学高学年・中学生用反応スタイル尺度の開発.                                    | 発達心理学研究. 25: 477-488, 2014,<br>【臨床心理学】 |
| 47 | 村山恭朗 | 子どものこころの発達研究センター | いじめ加害・被害と内在化/外在化問題との関連性                                   | 発達心理学研究. 26: 13-22, 2015,<br>【発達臨床心理学】 |
| 48 | 片桐正敏 | 子どものこころの発達研究センター | 一般児童生徒の強迫傾向が後の抑うつ、攻撃性を予測するかー単一市内コホート調査に基づく縦断的検討ー          | 小児の精神と神経, 印刷中.<br>【発達心理学】              |
| 49 | 小林利彦 | 医療福祉支援センター       | 退院支援・退院調整業務に関するインターネットアンケート調査.                            | 日本医療マネジメント学会雑誌 14(4): 203-208, 2014    |
| 50 | 小林利彦 | 医療福祉支援センター       | 医師事務作業補助者の質的向上への課題 -アンケート調査から見えること-                       | 医療秘書実務論集4:29-34, 2014                  |

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

(注) 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

(注) 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

|  |        |
|--|--------|
| ① 倫理審査委員会の設置状況   | 有・無    |
| ② 倫理審査委員会の手順書の整備状況   | 有・無    |
| ・ 手順書の主な内容<br><br>・ 倫理委員会の役割・責務等<br>・ 倫理委員会の業務<br>・ 倫理委員会の運営<br>・ 倫理委員会における審査<br>・ 倫理委員会事務局の業務 |        |
| ③ 倫理審査委員会の開催状況   | 年 12 回 |

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

|  |       |
|--|-------|
| ① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況  | 有・無   |
| ② 利益相反の管理に関する規定の整備状況   | 有・無   |
| ・ 規定の主な内容<br><br>・ 利益相反マネジメントの目的・対象・対象者<br>・ 利益相反マネジメント委員会の設置・審議事項・組織<br>・ 利益相反マネジメントのための調査方法<br>・ 審議、勧告、決定等の手続き<br>・ 臨床研究に関する調査等<br>・ 研修・啓発活動 |       |
| ③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況  | 年 4 回 |

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

|   |       |
|---|-------|
| ① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況   | 年 4 回 |
| ・ 研修の主な内容<br><br>(平成26年度) 1回実施<br>・ 臨床研究につながる最先端の技術の見識を広めるための研修<br>(平成27年度) 3回実施<br>・ 倫理指針の改訂について<br>・ 研究計画書のブラッシュアップについて<br>・ モニタリング・監査、記録の保存等について |       |

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

①(1)MondayClub：本学内精神科医、臨床心理士等を対象とした臨床研究講演会(2)児童精神科連続講座：学内外の精神科医、小児科医その他の科の医師、臨床心理士等を対象とした児童精神科の臨床研究講演会(3)こどものこころの診療を考える研修会：学内外の精神科医、小児科医その他の科の医師、臨床心理士、看護師等を対象とした子どもの診療についての研修会  
 ②ブタを用いた胸腔鏡下肺葉切除術のトレーニング ③(1)重度運動器外傷治療の最前線 (2)わが国の整形外科の現状と未来 (3)脊椎脊髄疾患の診断・治療における最近の進歩—脊椎腫瘍を含めて— (4)変形性股関節症の治療戦略 (5)症例から学ぶ脊椎疾患の診断と治療のピットホール (6)肘部管症候群の病態、診断、治療 (7) Critical Thinking脊椎外科—診断学の謎 (8)脊椎感染症の診断と治療 (9)膝前十字靭帯再建術の進歩と問題点 (10)変形性膝関節症治療の現状と課題 (11)変形性股関節症に対する治療戦略 ④(1)日本皮膚科学会静岡地方会：専門的研究発表と討論 (2)遠州皮膚科医会：症例検討・専門領域の講演 ⑤眼科症例検討会 ⑥補聴器相談医更新のための講習会 ⑦(1)困難気道管理 (DAM)シミュレーションセミナー (2)デスフルラン シミュレーションアカデミー ⑧(1)がん医療従事者研修会 「がん化学療法と歯科治療」「周術期口腔ケア」(2)静岡がん治療フォーラム 「小児がん治療の現状-治療成績の向上」「小児がん長期ケアと成人医療移行」(3)緩和ケア研修会「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」(4)東海がんプロフェッショナル養成基盤推進プランオンコロジー応用セミナー 「肺がんの分子標的治療薬」「乳がんの分子標的治療薬」「分子標的薬の皮膚障害とその対策」「安全安心で有効ながん薬物療法における薬剤師の役割」⑨自閉症早期スクリーニングのための注視点検出装置「Gazefinder」を用いた、自閉症の客観的な診断法の開発状況とその成果 (2)新たな自閉症診断の方向性 ⑩(1)JATEC(外傷初期診療)：重症外傷の初期診療を実技を通じて学ぶ (2)JMECC(内科救急診療コース)：内科的救急疾患の初期診療を学ぶ ⑪浜松医科大学附属病院周産母子センター、NICU(新生児集中治療室)において新生児診療の研修を行ない、日本周産期・新生児医学会認定の周産期(新生児)専門医取得を目指す。高度の医療として、在胎28週未満の超早産児や出生体重1000g未満の超低出生体重児の診療、高頻度振動換気を含む人工呼吸器管理、一酸化窒素(NO)吸入療法、新生児低体温療法等の研修 ⑫CT検査におけるヨード造影剤副作用発現時の対応訓練

2 研修の実績

|        |     |
|--------|-----|
| 研修医の人数 | 42人 |
|--------|-----|

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

| 研修統括者氏名 | 診療科        | 役職等 | 臨床経験年数 | 特記事項 |
|---------|------------|-----|--------|------|
| 宮嶋 裕明   | 第一内科       | 教授  | 34年    |      |
| 須田 隆文   | 第二内科       | 教授  | 29年    |      |
| 林 秀晴    | 第三内科       | 教授  | 39年    |      |
| 森 則夫    | 精神科神経科     | 教授  | 38年    |      |
| 緒方 勤    | 小児科        | 教授  | 34年    |      |
| 椎谷 紀彦   | 第一外科       | 教授  | 31年    |      |
| 今野 弘之   | 第二外科       | 教授  | 37年    |      |
| 難波 宏樹   | 脳神経外科      | 教授  | 36年    |      |
| 松山 幸弘   | 整形外科       | 教授  | 28年    |      |
| 戸倉 新樹   | 皮膚科        | 教授  | 33年    |      |
| 大園 誠一郎  | 泌尿器科       | 教授  | 39年    |      |
| 堀田 喜裕   | 眼科         | 教授  | 32年    |      |
| 峯田 周幸   | 耳鼻咽喉科      | 教授  | 35年    |      |
| 金山 尚裕   | 産科婦人科      | 教授  | 35年    |      |
| 阪原 晴海   | 放射線科       | 教授  | 37年    |      |
| 中島 芳樹   | 麻酔科蘇生科     | 教授  | 28年    |      |
| 加藤 文度   | 歯科口腔外科     | 教授  | 31年    |      |
| 美津島 隆   | リハビリテーション科 | 准教授 | 26年    |      |
| 深水 秀一   | 形成外科       | 准教授 | 35年    |      |
| 渡邊 裕司   | 臨床薬理内科     | 教授  | 32年    |      |
| 前川 真人   | 検査部        | 教授  | 33年    |      |
| 馬場 聡    | 病理診断科      | 准教授 | 30年    |      |
| 吉野 篤人   | 救急部        | 教授  | 29年    |      |
| 木村 通男   | 医療情報部      | 教授  | 29年    |      |
|         |            |     | 年      |      |

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況 (任意)

・研修の主な内容

①(1)MondayClub：本学内精神科医、臨床心理士等を対象とした臨床研究講演会 (2)児童精神科連続講座：学内外の精神科医、小児科医その他の科の医師、臨床心理士等を対象とした児童精神科の臨床研究講演会 (3)こどものこころの診療を考える研修会：学内外の精神科医、小児科医その他の科の医師、臨床心理士、看護師等を対象とした子どもの診療についての研修会 ②(1)がん医療従事者研修会 (2)静岡がん治療フォーラム (3)東海がんプロフェッショナル養成基盤推進プランオンコロジー応用セミナー ③CT検査におけるヨード造影剤副作用発現時の対応訓練 ④(1)AHA-ACLSコース (2)ICLSコース (3)MCLSコース ⑤(1)児童精神科連続講座 (2)こどものこころの診療を考える研究会 ⑥(1)ISO 15189 臨床検査室 2012年版移行のための講習会 (2)技術研修会 (3)カンファレンス ⑦保健師対象研修 ⑧看護研修(がん看護：がん化学療法、緩和ケア、脳卒中看護、慢性疾患看護)

・研修の期間・実施回数

①(1)毎週月曜日/40回 (2)2014.7.20-21、2015.1.11-12 (3)2014.7.11 ②(1)2014.12.15、2015.2.13 (2)2014.10.10 (3)2014.7.27 ③2014.6.20、2014.7.17 ④(1)2014.6.7-8、2014.9.4-5、2014.12.20-21 (2)2014.8.16 (3)2015.1.24、2015.1.25 ⑤(1)2015.1.10-11 (2)2014.7.11 ⑥2014.4.1-2015.3.31 全41回 ⑦2014.9 ⑧2014.4.1-2015.3.31 全5回

・研修の参加人数

①(1)40~50名 (2)60~80名 (3)25名 ②(1)55名、13名 (2)37名 (3)61名  
③30名 ④(1)12名 (2)12名 (3)24名 ⑤(1)60~80名 (2)25名 ⑥1,845名 ⑦30名  
⑧各100名

② 業務の管理に関する研修の実施状況 (任意)

・研修の主な内容

①(1)ISO 15189 臨床検査室講習会 (2)検査管理研修会 (3)業務管理に関する教育プログラム ②災害看護

・研修の期間・実施回数

①(1)2014.4.1-2015.3.31 全21回 ②2014.4.1-2015.3.31 全5回

・研修の参加人数

①総計945名 ②20名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

|         |   |
|---------|---|
| 計画・現状の別 | 1. 計画 2. 現状   |
| 管理責任者氏名 | 病院長 今野弘之  |
| 管理担当者氏名 | 総務課長 大森達郎／人事課長 大谷理恵／医事課長 前島耕志<br>薬剤部長 川上純一／放射線部長 阪原晴海／手術部長 中島芳樹<br>看護部長 鈴木美恵子／医療機器管理部長 林 秀晴 |

|  |  | 保管場所   | 管理方法   |
|--|--|--|--|
| 診療に関する諸記録  |  | 医事課（ただし、電子化により、処方箋は薬剤部、手術記録は手術部、放射線医用画像は放射線部、看護記録は看護部でそれぞれ管理している。） | カルテは、一患者1IDとし、入院及び外来ともに診療情報室において保存管理している。                    |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録   | 従業者数を明らかにする帳簿                              | 人事課  | 人事課において保存管理している。   |
|  | 高度の医療の提供の実績                                | 医事課  | 医事課において保存管理している。   |
|  | 高度の医療技術の開発及び評価の実績                          | 総務課・医事課  | 総務課・医事課において保存管理している。   |
|  | 高度の医療の研修の実績                                | 医事課  | 医事課において保存管理している。   |
|  | 閲覧実績                                       | 総務課  | 総務課において保存管理している。   |
|  | 紹介患者に対する医療提供の実績                            | 医事課  | 医事課において保存管理している。   |
|  | 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿                  | 医事課・薬剤部  | 入院患者数・外来患者数については医事課において保存管理している。<br>調剤数については薬剤部において保存管理している。 |
| 第規<br>一則<br>号第<br>に一<br>掲条<br>げの<br>十一<br>体制<br>第一<br>の確<br>項保<br>各号<br>状及<br>況第<br>九条<br>の二<br>十第<br>一項 | 医療に係る安全管理のための指針の整備状況                       | 医事課  | 医療安全・感染対策室において保存管理している。                                      |
|  | 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況                      | 医事課  |  |
|  | 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況                     | 医事課  |  |
|  | 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | 医事課  |  |
|  | 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況                      | 医事課  |  |
|  | 専任の院内感染対策を行う者の配置状況                         | 医事課  |  |
|  | 医療に係る安全管理を行う部門の配置状況                        | 医事課  |  |
|  | 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況         | 医事課  |  |

|                  |                                       | 保管場所  | 管理方法    |                         |
|------------------|---------------------------------------|---|---------|-------------------------|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 規則第一一条の十一項各号及び第九条の二十三項第一号に掲げる体制の確保の状況 | 院内感染のための指針の策定状況   | 医事課     | 医療安全・感染対策室において保存管理している。 |
|                  |                                       | 院内感染対策のための委員会の開催状況                                      | 医事課     |                         |
|                  |                                       | 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況                                | 医事課     |                         |
|                  |                                       | 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況             | 医事課     |                         |
|                  |                                       | 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況                              | 薬剤部     | 薬剤部において保存管理している。        |
|                  |                                       | 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況                              | 薬剤部     |                         |
|                  |                                       | 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況              | 薬剤部     |                         |
|                  |                                       | 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況   | 薬剤部     |                         |
|                  |                                       | 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況                                   | 医療機器管理部 | 医療機器管理部にて計画、実施、管理している。  |
|                  |                                       | 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況                             | 医療機器管理部 |                         |
|                  |                                       | 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況                           | 医療機器管理部 |                         |
|                  |                                       | 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 医療機器管理部 |                         |

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

|  |                    |
|--|--------------------|
| 計画・現状の別  | 1. 計画 (2) 現状       |
| 閲覧責任者氏名  | 事務局次長(総務担当) 長谷川 篤志 |
| 閲覧担当者氏名  | 総務課長 大森 達郎         |
| 閲覧の求めに応じる場所  | 総務課情報公開室           |
| 閲覧の手続の概要<br>独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律(平成13年法律第140号)に基づき、国籍、住所、年齢、個人及び法人を問わず、浜松医科大学の保有する法人文書の開示を請求することができる。請求を受理してから、1か月以内(請求の内容によってはそれ以上の日数を要する場合もある。)に開示・不開示等を決定し、請求者に通知する。その後、請求者からの開示の実施申出を受け開示を実施する。 |                    |

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

| 前年度の総閲覧件数 |        | 延 | 0件 |
|-----------|--------|---|----|
| 閲覧者別      | 医師     | 延 | 0件 |
|           | 歯科医師   | 延 | 0件 |
|           | 国      | 延 | 0件 |
|           | 地方公共団体 | 延 | 0件 |

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

## (様式第6)

## 規則第1条の1第1項各号及び第9条の2第3第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

|   |  |
|---|--|
| ① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況  | 有・無  |
| <p>・指針の主な内容：</p> <p>安全管理に関する基本的な考え方<br/> 安全管理体制確保のための委員会組織等<br/> 医療事故発生時の対応等<br/> 診療科及び中央診療施設ごとに安全管理のためのマニュアルを設置し、適切に対応<br/> 患者からの医療の安全に関する相談・苦情等に対応するため患者相談窓口を設置</p>                 |  |
| ② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況   | 年 12 回                                     |
| <p>・活動の主な内容：</p> <p>医療安全管理体制の確保に関すること<br/> 医療事故等の把握、分析、対処改善及び評価に関すること<br/> 医療安全管理のための職員研修に関すること<br/> その他の医療の安全管理に関すること</p>  |  |
| ③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況  | 年 20 回                                     |
| <p>・研修の主な内容：</p> <p>講演会 3 回（全職員対象）<br/> 医療安全管理及び感染対策に係る新任者研修 10 回（中途採用職員対象）<br/> 研修医ガイダンス 1 回（医療事故・安全対策について）<br/> 新採用者オリエンテーション 3 回（事故防止に関すること等）<br/> サマーセミナー 2 回<br/> 看護助手研修 1 回</p> |  |
| ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況  |  |
| <p>・医療機関内における事故報告等の整備 <input checked="" type="radio"/>有・無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p>  |  |
| ⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況   | <input checked="" type="radio"/> 有（ 2 名）・無 |
| ⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況  | <input checked="" type="radio"/> 有（ 1 名）・無 |
| ⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況   | <input checked="" type="radio"/> 有・無       |
| <p>・所属職員： 専任（ 2 ）名 兼任（ 16 ）名</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>医療事故及びインシデントの収集、調査、分析に関すること<br/> 医療事故防止対策の立案及び周知に関すること<br/> リスクマネージャーとの連絡調整に関すること<br/> 医療事故防止に係る教育、研修、啓発の立案に関すること</p>            |  |
| ⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況  | <input checked="" type="radio"/> 有・無       |

## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

|  |        |
|--|--------|
| ① 院内感染対策のための指針の整備状況  | 有・無    |
| <p>・指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>2. 院内感染対策に関する管理組織機構</li> <li>3. 職員研修に関する基本方針</li> <li>4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>5. アウトブレイクあるいは異常発生時の対応に関する基本方針</li> <li>6. 患者等への情報提供と説明に関する基本方針</li> <li>7. 感染対策に関する地域医療機関との連携</li> <li>8. その他院内感染対策推進のための基本方針</li> </ol>  |        |
| ② 院内感染対策のための委員会の開催状況   | 年 12 回 |
| <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染症情報レポートおよびMRSAサーベイランス報告</li> <li>2. ICTラウンド報告</li> <li>3. コンサルテーション・ICT実践報告</li> <li>4. 診療科別抗菌薬使用状況の報告</li> <li>5. 院内手指消毒用アルコールの病棟別消費量報告</li> </ol>   |        |
| ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況   | 年 19 回 |
| <p>・研修の主な内容：</p> <p>【全職員対象講習会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染対策講習会：3回（感染対策の基本、抗菌薬適正使用、アウトブレイクなど）</li> <li>・医療安全・感染対策合同セミナー：2回（中心ライン、尿道留置カテーテル、ドレーン管理など）</li> </ul> <p>【職種・部署別研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新採用看護師3回 ・研修医1回 ・看護助手1回 ・中途採用看護師（採用毎）</li> <li>・中途採用看護助手（採用毎） ・看護師（静脈注射・ラダーレベルⅡ） ・部署別勉強会3回</li> </ul> <p>【委託業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養部 ・エネルギーセンター</li> </ul> |        |
| ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況  |        |
| <p>・病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抗菌薬適正使用のため、薬剤師が毎日モニタリングを実施。</li> <li>・ICTミーティングによる抗菌薬適正使用の評価、耐性菌等微生物検出状況の把握と介入。</li> <li>・ICTラウンドによる感染対策実施状況の確認。</li> <li>・院内Web内感染対策HP、ICT NEWSなどによる情報提供。</li> </ul>  |        |

(様式第6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|  |       |
|--|-------|
| ① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況   | 有・無   |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況   | 年 3 回 |
| <p>・研修の主な内容：</p> <p>・静脈注射の知識および実施に当たり注意すべきポイント</p> <p>・処方オーダーの入力方法（研修医）</p> <p>・医薬品の取扱で注意すべきこと（新採用看護師）</p>   |       |
| ③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況   |       |
| <p>・手順書の作成 (有・無)</p> <p>・業務の主な内容：</p> <p>実施状況については年1回チェックシートを用いて確認している。</p>  |       |
| ④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況  |       |
| <p>・医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>・医薬品安全管理室員（副薬剤部長）が医療安全管理室に週あたり4時間程度在室し、GRMと事例の情報共有を行う。</p> <p>・医薬品安全管理室員が医療安全カンファレンスに参加し事例について多職種でのディスカッションを行う。</p> |       |

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|   |        |
|---|--------|
| ① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況   | ○有・無   |
| ② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況   | 年 60 回 |
| ・研修の主な内容：<br><br>医政指発第0330001号、医政研発第0330018号に従った特定高度管理医療機器を中心に、高度管理医療機器、一般医療機器などを含めた院内使用頻度の高い機器の院内医療従事者対象とする研修会を60回実施した。勤務時間の都合などで参加不可の職員に配慮して、同一課題の研修会を複数回持つよう留意している。  |        |
| ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況   |        |
| ・計画の作成 ○有・無<br><br>・保守点検の主な内容：<br><br>医療機器の定期点検は1402件、修理560件、返却時(日常)点検9528件であった。これら点検の計画は、機器添付マニュアルまたは添付文書に記載される頻度、条件に従い点検計画を策定している。  |        |
| ④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況   |        |
| ・医療機器に係る情報の収集の整備 ○有・無<br><br>・その他の改善のための方策の主な内容：<br><br>当該機器メーカーからの安全性情報及び医薬品、医療機器総合機構(PMDA)からの安全性情報を収集(自動配信メールリストに登録済)し、医療機器管理部の院内ホームページにて広報するとともに、当該機器関連部署に文書にて連絡する。また、GRM経由、医療安全管理室(院内医療安全委員会)へ通達している。院内で生じたインシデント・アクシデントに対しては、医療安全管理委員として医療安全管理室会議出席(1回/月)や医療安全リスクマネージャ会議(4回/年)、医療安全カンファランス(4回/月)にて討議、安全啓発に努めている。 |        |

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

|  |  |
|--|--|
| ① 病院の機能に関する第三者による評価の有無   | <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 |
| ・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期<br>公益財団法人 日本医療機能評価機構<br>平成26年3月4日(火) 5日(水)<br>検査部：公益財団法人 日本適合性認定協会 平成27年3月16日(月) 17日(火) |  |

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

|   |  |
|---|--|
| ① 果たしている役割に関する情報発信の有無   | <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 |
| ・ 情報発信の方法、内容等の概要<br><br>(1) 広報誌による情報発信・・・病院案内(年1回)、「はんだ山の風」(年4回)、医療福祉支援センター広報誌「かけはし」(年4回)を発行し、県内・外に配信している。<br><br>(2) 公開講座による情報発信・・・浜松医科大学、静岡新聞社主催で「浜松医科大学公開講座(市民講座)」(H27.4～H28.1(全7回))、浜松医科大学主催「公開講座」(H27.7～8(全3回))、浜松医科大学、静岡肝疾患診療連携拠点病院主催で「市民公開講座・患者サロン」(H27.8(1回))を実施している。 |  |

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

|   |  |
|---|--|
| ① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無  | <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 |
| ・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要<br><br>(1) 緩和ケアチーム、褥瘡対策チーム、NSTチーム、感染対策室、医療安全管理室、肝疾患連携相談室等多職種が参加した診療・ケアが実践されている。<br><br>(2) 放射線科が乳腺外科合同カンファレンス、心臓MRIカンファレンス、肝・胆・膵合同カンファレンス、脳神経外科カンファレンス及び耳鼻咽喉科カンファレンスと画像診断検討会を実施している。 |  |